

## 第33回全国都市緑化よこはまフェアについて

### 1 全国都市緑化フェアの目的

国土交通省の提唱で、都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的に、毎年全国各地で開催

### 2 第33回全国都市緑化よこはまフェアの概要

- (1) 開催期間 平成29年3月25日（土）～6月4日（日）[72日間]
- (2) 会場構成 みなとガーデン（都心臨海部会場）  
山下公園、グランモール公園、港の見える丘公園、横浜公園、日本大通り、  
象の鼻パーク、新港中央広場、運河パーク  
里山ガーデン（郊外部会場）  
横浜動物の森公園植物公園予定地
- (3) 主催者 横浜市、公益財団法人都市緑化機構
- (4) 運営主体 第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会
- (5) 愛称 ガーデンネックレス横浜2017

### 3 実施計画の主なポイント

- (1) テーマフラワー  
サクラ、チューリップ、バラをテーマフラワーとして、季節にあわせた彩りを演出
- (2) 横浜らしい魅力の発信
  - ・様々なイベントとの連携や市民と協働してつくる花壇の設置
  - ・花で飾られた街並みを生かしたフォトスポットの展開 など
- (3) 会場整備
  - ・みなとガーデン：自治体や企業の花壇出展に加え、横浜の街を花や緑で彩り、賑わいを創出
  - ・里山ガーデン：横浜に残る緑や広大な空間を生かしたアスレチックなどの体験型企画や市内最大級の大花壇などで森をダイナミックに楽しめる演出
- (4) 観客誘致・広報宣伝、会場運営管理
  - ・様々な広報媒体によるPRや多彩なプログラムによる誘客
  - ・適切な会場運営、ボランティアへの参画など市民との協働を推進
- (5) 全市展開  
各区との連携や市内各所にパートナー会場を設定するなど市域全体での盛り上げ

### 4 その他

- ・よこはまフェア期間中に皇室の御臨席を賜り全国都市緑化祭を開催

# 第33回全国都市緑化よこはまフェア実施計画 (概要版)

## 開催概要

**名称** 第33回全国都市緑化よこはまフェア  
**愛称** ガーデンネックレス横浜2017※  
**開催期間** 2017年3月25日(土)～6月4日(日) (72日間)  
**会場構成** ・みなとガーデン(都心臨海部会場)  
 [山下公園、グランモール公園、港の見える丘公園、横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク、新港中央広場、運河パーク]  
 ・里山ガーデン(郊外部会場)  
 [横浜動物の森公園植物園予定地]  
**主催者** 横浜市、公益財団法人 都市緑化機構  
**運営主体** 第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会  
**想定来場者数** 500万人

### 開催理念

『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』をテーマに美しい花と緑豊かなまち横浜の実現

**開会式** 平成29年3月25日(土)

場所：大さん橋ホール

**閉会式** 平成29年6月4日(日)

場所：大さん橋ホール

全国都市緑化祭 フェア会期中(1日)

## 愛称・ロゴマーク・シンボルキャラクター

※『ガーデンネックレス』

公園などの魅力ある花と緑の資源にさらに磨きをかけ、美しい「ガーデン」をつくります。それらが回遊できるよう「ネックレス」のようにつながり、横浜の歴史や文化、緑の取り組みなど、まち、人、時をつなぎ、美しい横浜を表現します。

ロゴマーク



シンボルキャラクター「ガーデンベア」



## 会場

### 市内の会場位置



花や緑にかかわる魅力ある場所を「パートナー会場」とします。広報やイベント等で連携を図り、メイン会場との相乗効果を高めます。また、市内全域でよこはまフェアを展開するため、市内18区と連携した事業を進めます。

## メイン会場

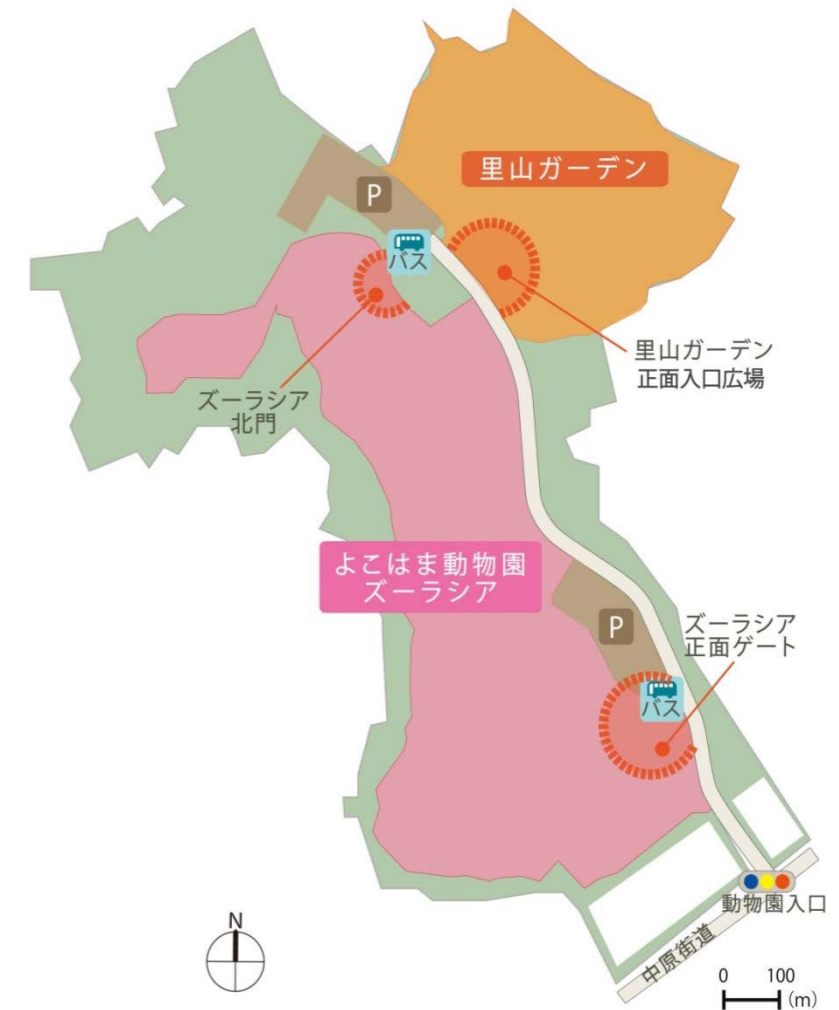
### みなとガーデン コンセプト『歴史と未来の横浜』

開港とともに築かれた歴史的建造物の緑化や観光地として魅力ある景観を花と緑で引き立てるだけでなく、みなとみらい地区に代表される新しい横浜を緑化壁など緑化技術で演出します。



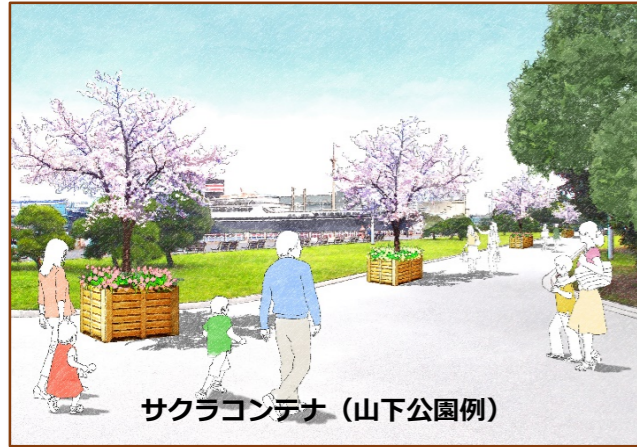
### 里山ガーデン コンセプト『緑豊かな横浜』

里山の魅力、楽しみ方を身近に実感、体感できるように、市内で最大級となる花の景観や、自然の樹林を使ったアスレチックなど、子どもから大人まで楽しめる会場を目指します。



# ハマを彩る 100万本の花でお出迎えします。

## サクラ (3月下旬~4月下旬)



自動車道やさくら通り等既存のサクラに加え、山下公園などに、100基のシドモア桜のコンテナが出現します。まちがサクラの花見会場になります。

## チューリップ (3月下旬~4月下旬)



横浜公園の16万本のチューリップを中心に、合計30万本のチューリップが街を彩ります。時間とともに色が変化する新品種の「ラバースタウン」にも注目！(株)サカタのタネ協力

## バラ (5月上旬~6月上旬)



みなとガーデンでは3つの異なるテーマのバラ園(山下公園:未来のバラ園、港の見える丘公園:イングリッシュローズの庭、香りの庭)に加え、『横浜イングリッシュガーデン』とも連携しながら展開します。

横浜らしい魅力の発信

## イベント・屋内展示



横浜赤レンガ倉庫で、屋内ならではの展示やワークショップ等を実施します。みなとガーデン内の各会場では既存イベントと連携し、街に一層の賑わいを創り出します。

## 歴史的建造物



開港資料館や西洋館等、横浜の歴史的建造物を花や緑で飾り演出します。

## 日本フラワー&ガーデンショウ



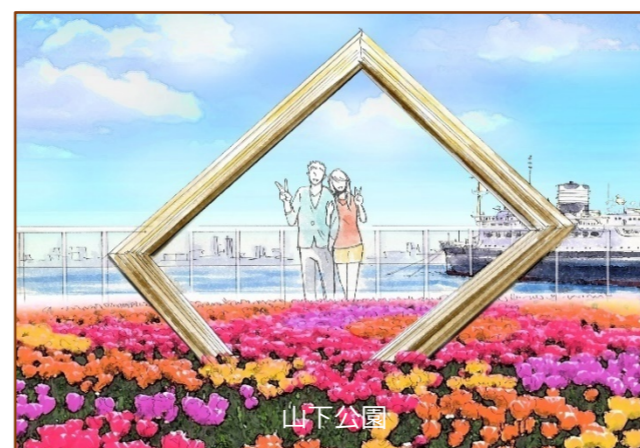
よこはまフェアを機にパシフィコ横浜に日本フラワー&ガーデンショウを誘致しました。主催者と連携して開催機運を盛り上げます。

## 市民連携花壇



横浜市の公園愛護会等が連携してつくる「球根ミックス花壇」。オランダの最新式の球根の植え方についてプロのガーデナーから教わりながら花壇を作っていきます。(山下公園)

## フォトスポット



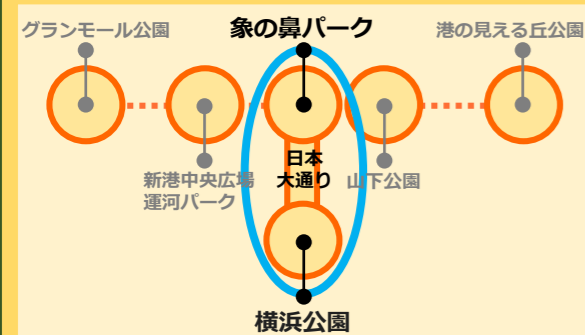
よこはまフェアの会場内に、フォトスポットを設置します。花だけでなく横浜の景色や街並みを活かしたフォトスポットを展開します。

## NHK「趣味の園芸」50thガーデン



番組放送50周年事業として、港の見える丘公園で、番組が1年をかけて『NHK「趣味の園芸」50th (50周年) ガーデン』を作ります。

# みなとガーデン 日本大通りエリア



## 「花の日本大通り」

＜象の鼻パーク～日本大通り～横浜公園＞をみなとガーデンの中心会場として位置づけます。自治体出展花壇や企業出展花壇、主催者展示によるテーマフラワーを中心とした飾花により、「花の日本大通り」としてフェア開催期間（72日間）を通じて花で彩ります。

## 象の鼻パーク

### ガーデンベアの庭

よこはまフェアのシンボリックなガーデンで出迎えます。



### 企業出展

「もてなしの庭」をテーマに全国から企業等が庭園を出展します。



象の鼻パークは横浜開港発祥の地になります。開港以来、多くの方をお出迎えしてきたことから「もてなしの庭」をテーマに庭園出展を展開します。

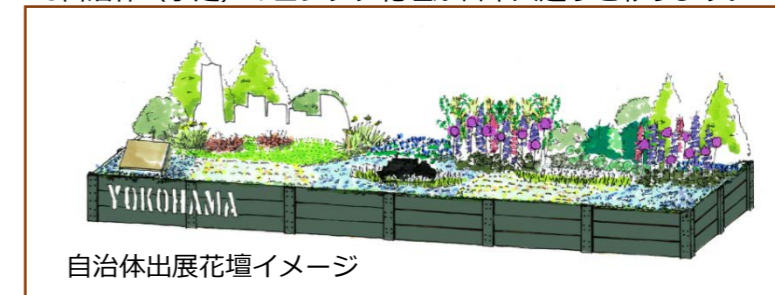
## 日本大通り



### 自治体出展花壇

街を彩る港からの贈り物

「コンテナから溢れだす各地の街並み・風景花壇」をテーマに、25自治体（予定）のコンテナ花壇が日本大通りを彩ります。



### ばらサミット展

「ばら」を市町村の花として定めている自治体による会議（ばらサミット）に合わせ、参加自治体のばらを展示します。

## 横浜公園

### 16万本のチューリップ

市民の想いで咲かせた  
16万本のチューリップが競演します。

横浜公園ではスプリングフェアに合わせて市民とともに植えた16万本のチューリップが咲き誇ります。市民協働は横浜の目指す都市緑化の重要なポイント。チューリップ後も花が楽しめるように演出します。



### 協働ガーデン

横浜DeNAベイスターズとの  
協働ガーデンが登場します。

横浜が誇るプロ野球球団「横浜DeNAベイスターズ」と連携して、野球に親しめ、フォトスポットとなるような「ベイスターズガーデン」（仮称）を作ります。

I★YOKOHAMA

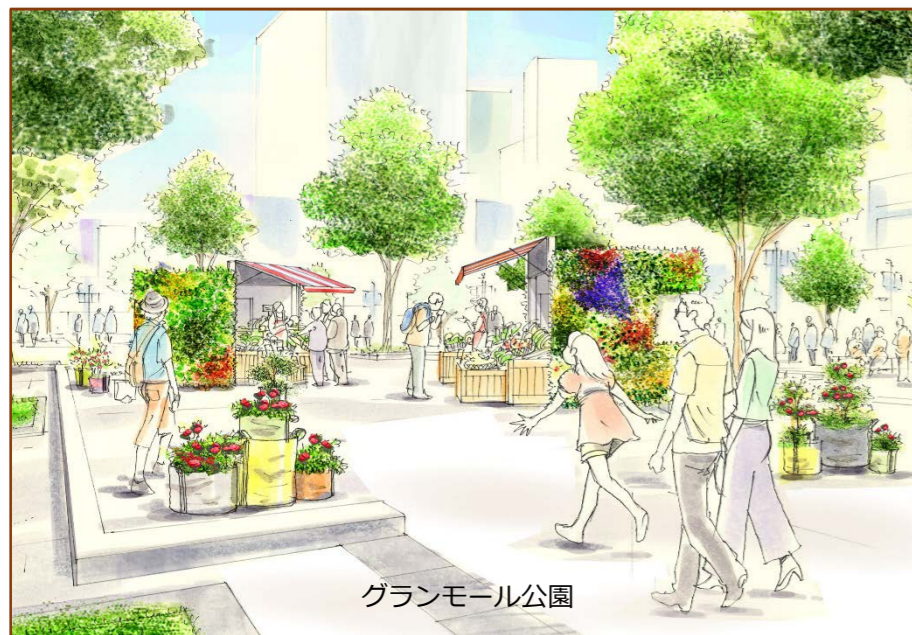


©YDB

## グランモール公園

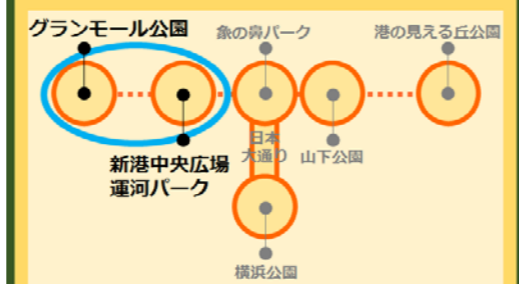
### グリーンキューブ

緑化壁に囲まれたブースで横浜市内産の花・緑・農をPRします。



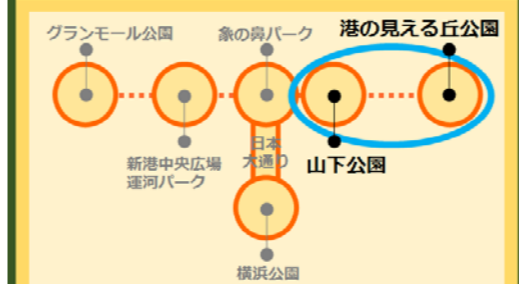
グランモール公園

## みなとガーデン みなとみらいエリア



グランモール公園では、緑化した壁面に囲まれたブースで横浜の花・緑・農をPRするとともに横浜市が進めているみどりの施策や将来につながる取組なども伝えます。また、企業の協力により、緑化壁の技術を紹介しします。

## みなとガーデン 山下・山手エリア



昼 市の花であるバラと草花の華麗な共演による色彩のコンチェルトが楽しめる「未来のバラ園」として展開します。また、よこはまフェアの開催に合わせ新品種のバラも導入します。

夜 ローズゲートなどを活用したイルミネーションやライトアップで、沈床花壇の空間を立体感豊かに演出します。

## 山下公園

### 未来のバラ園（ライトアップ）

昼のバラ園そして夜のバラ園、二つの顔が楽しめます。



山下公園

世界の広場では、「天空のパーティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやつるバラで装飾します。

## 新港中央広場・運河パーク

### ナチュラルガーデン

花、風、木陰、横浜らしい風景でもてなします。



新港中央広場

新港中央広場では、季節の花と心地よい風や木陰でもてなします。横浜赤レンガ倉庫やランドマークタワーなど、歴史と都市が共存する横浜らしい風景もここならではの楽しみです。

### 企業・団体出展

全国から企業・団体による庭園出展を展開します。



新港中央広場

新港中央広場は、みなとみらい21新港地区の開けた広場として「ナチュラルガーデン」、運河パークは、「アーバンライフガーデン」をテーマとして庭園出展を展開します。

## 港の見える丘公園・横浜山手西洋館

### ハンギングバスケットの丘

100基のハンギングバスケットが港の景色を彩ります。

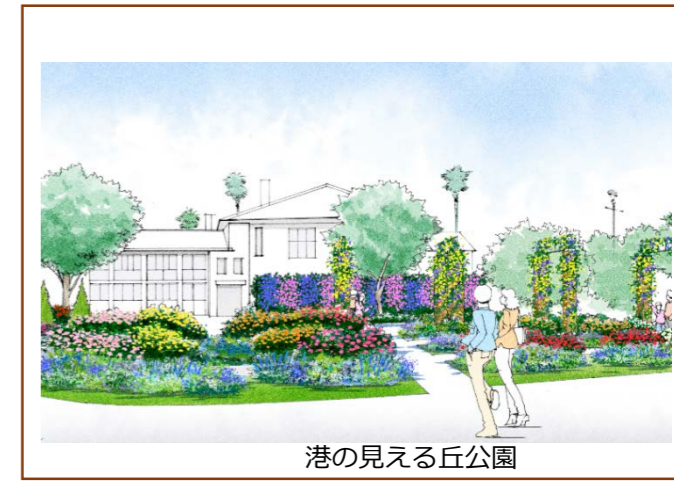


港の見える丘公園

港の見える丘公園では、エントランスから展望台周辺のエリアでハンギングバスケットのコンテストを開催します。

### イングリッシュローズの庭

異国情緒のある、バラと暮らしを楽しめます。



港の見える丘公園

イギリス館の前に広がるローズガーデンは、開港文化を現代に引き継ぐ西洋館とともに楽しめます。130品種、1,200株のイングリッシュローズとともにシルバーやブルーの一年草・宿根草で彩ります。

### あこがれの西洋の庭と西洋館

横浜山手西洋館では、建物のイメージと合ったガーデンを楽しめます。



## 横浜の森の空中アスレチック

森を上から眺める！新鮮な感動に出会えます。



樹の上で、安全器具を設置して、さあ、空中大冒険。誰もが、新鮮な森に触れ真剣に楽しめます。大人は子供にかえり、子供は大人になる。今だけの体験は、自然や親子の絆も深めてくれます。(有料)

### アクセス

#### 会場へのアクセスの工夫 (裏面参照)

会場までの公共交通機関の利用促進をズーラシアと連携して広報するとともに、利便性の向上のため、混雑が予想される会期中の土日祝日は、中山駅周辺から会場に直接アクセスできるシャトルバスの運行等を検討します。また、車での特来者には、里山ガーデンに隣接するズーラシア北門駐車場を常時利用していただけるよう適切に誘導を行います。

### 移動

#### 会場を楽しくめぐるための工夫

子どもたちが乗り物を楽しみ、幅広い年代の来場者が広い会場を回遊できるよう、会場内に移動バスを走らせます。また、ズーラシアと里山ガーデンを一体的に楽しめるように、ズーラシアとの行き来がしやすくなるような方法を検討します。



(園内移動バスイメージ)

## 里山ガーデン



### 谷戸の花畑・谷戸のカキツバタ園

## 美しい懐かしさ、谷戸のカキツバタ園

観覧デッキからのんびりと美しい風景を楽しめます。



谷戸を彩る数々の桜と一面に広がるナノハナ等の春の花々、桜の後は水辺に張り出した観覧デッキから、カキツバタとみずみずしい新緑、ヤマブキ等の美しいコントラストが楽しめます。

## 市内最大級、1ヘクタールの大花壇

春の花々が描き出す大キャンバスを楽しめます。



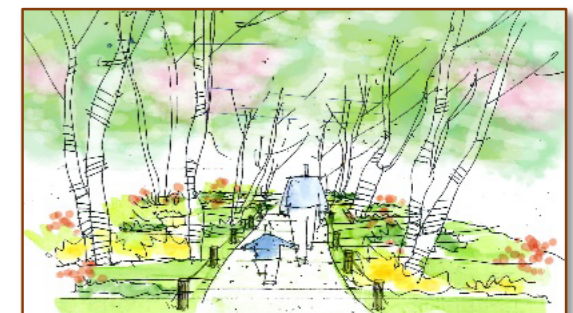
ゲートをくぐり林の中を抜けると・・・そこは巨大な花のキャンバス。サクラやチューリップをはじめたくさんの春を代表する花々がお出迎えます。デッキから眺めたり、一面の花畑の中をお散歩したり、どれもここでしかできない体験です。また、横浜のパンジーの生産は、栽培面積で全国トップクラス。横浜の農家が丹精込めて育てた地場産の花々にも注目です。

### 胸が高まる正面入口広場



森の遊びや楽しみを体験する入口、生きものと出会う入口、花を楽しむ入口があり、それぞれの入口を進むと、フォレストアスレチックや大花壇などが待ち受けます。賑わいを彩る花壇や出展ブースとともに期待感が高まるエントランスです。

### 横浜の花と緑を楽しむ「花の小道」



横浜の花で彩る大花壇から、谷戸のカキツバタ園を結ぶ小道。新緑の中を散策しながら横浜の在来の花と緑に出会えます。

観客誘致・広報宣伝計画

「港町横浜の歴史」と「郊外部の緑豊かな里山文化」等の観光資源を活用し  
様々な広報媒体によるPRや多彩なプログラム作りにより全国から来場促進を図ります。

連携・相乗効果の実現

観客誘致	広報宣伝	行催事	営業参加	協働推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なエリアや幅広い層からの誘客を図る。</li> <li>観光資源を活用。</li> <li>花を中心とした情報を効果的に提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン会場及びパートナー会場の魅力を広報。</li> <li>テレビ、ラジオ、インターネットメディアなどの様々な広報媒体を活用したPRをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民、企業、学術関係者等と連携して行催事を実施する。</li> <li>花と緑の魅力を感じ、楽しむことができる行催事を展開し、フェアの理念を浸透させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食、公式グッズ販売を含めた、物販出店を中心に展開する。</li> <li>みなとガーデン、里山ガーデンの会場特性を踏まえた展開とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民との協働の仕組みを活用、市民、学校、企業などの参加を促進。</li> <li>横浜市だけでなく多様な主体との協働により、フェアを実施する。</li> </ul>

実施案

<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なエリアからの誘客展開</li> <li>シンボルキャラクターを活用</li> <li>開花時期に合わせた観客誘致</li> <li>事前のPR活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスメディアの活用</li> <li>交通広告</li> <li>インターネットメディアの活用</li> <li>ポスターなどの広報ツールの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式行事</li> <li>コンテスト</li> <li>屋内展示</li> <li>屋外展示</li> <li>主催イベント</li> <li>連携イベント</li> <li>応援イベント等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式グッズの販売</li> <li>飲食サービス</li> <li>物販の展開</li> <li>フェアオリジナルグッズの展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民(個人・団体)、学校、企業、団体との協働</li> <li>区役所との連携等</li> <li>商店街、商業施設等との連携</li> </ul>
--	--	--	---	---



©ITOON/GN2017

シンボルキャラクター展開による誘客展開  
広報ツールの活用  
公式グッズの販売



オープニングセレモニー  
(ex)あいちフェア



営業参加(キッチンカー)  
(イメージ)





閉会式  
(ex)あいちフェア



小学校花壇(イメージ)

会場運営管理計画

各会場の適切な運営管理を行い、植物維持管理ではボランティアが参画し、市民との協働を進めます。  
公共交通機関の利用を促進し、適切な誘導サインを設置して円滑な移動を図ります。

会場運営	ボランティア	交通輸送
<ul style="list-style-type: none"> <li>●みなとガーデン                     <ul style="list-style-type: none"> <li>各会場の管理方針等に則り、管理、運営を図る。</li> <li>案内所の開設時間は9時～17時</li> </ul> </li> <li>●里山ガーデン                     <ul style="list-style-type: none"> <li>よこはま動物園ズーラシアと運営、維持管理について、十分な連携を図り、実施する。</li> <li>閉園日は設けない。(案内所の開設時間は9時半～16時半)</li> </ul> </li> <li>●会場運営本部                     <ul style="list-style-type: none"> <li>みなとガーデンに設置し、情報集約、発信等、全体の統括を行う。</li> <li>運営本部を横浜赤レンガ倉庫1号館2階に設置する。(開設時間8時～22時)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場内花壇の植物維持管理補助を行うボランティアを募集する。</li> <li>ボランティアが植物の知識や植物管理の技術を身に付け、後の活動につながるよう、作業のアドバイスや研修等を実施する。</li> </ul>  <p>ボランティア (ex)あいちフェア</p>  <p>←インフォメーション (ex)あいちフェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●みなとガーデン                     <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の利用を促進し、駅から会場までのサイン設置により誘導を図る。</li> </ul> </li> <li>●里山ガーデン                     <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の利用は、最寄り駅(中山駅、鶴ヶ峰駅、三ツ境駅)からの路線バス利用を基本とする。</li> <li>自家用車利用は、ズーラシアと連携した駐車場運営や交通対策を実施する。</li> <li>徒歩利用は最寄り駅からの適切な誘導サインを設置する。</li> <li>土日祝日は中山駅周辺からのシャトルバスの運行を検討する。</li> <li>子どもたちが乗り物を楽しみ幅広い年代の来場者が円滑に回遊できるよう、会場内の移動バスを運行。(有料)</li> </ul> </li> </ul>

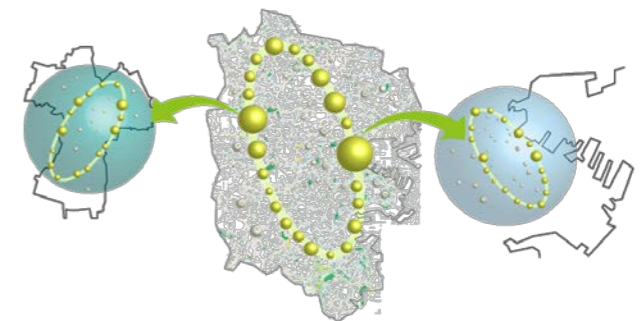
全市展開

よこはまフェアの展開の方向性である「ガーデンネックレス」を市全体でつなげるため、市民や各区等と連携、協力した事業を行い、よこはまフェアを全市的に盛り上げます。  
よこはまフェアの来場者に会場だけでなく市内各地にあるそれぞれの花や緑の見どころを発信します。

市域のガーデンネックレスを実現

横浜の各地の魅力を発信

市民協働・市民活動を発信



市民花壇の作成(ex)しずおかフェア



花と緑紹介ガイド  
(ex)東京フェア



パートナー会場の設定・18区連携  
(ex)あいちフェア、東京フェア

# 第 33 回全国都市緑化よこはまフェア

## 実施計画



©IT00N/GN2017

平成 28 年 3 月 30 日

第 33 回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会



## 目 次

1	第33回全国都市緑化よこはまフェアの概要	2
2	第33回全国都市緑化よこはまフェアの背景と目的	5
3	会場計画	8
3-1	会場構成	9
3-2	会場設計	13
3-3	屋外団体出展	22
3-4	植物調達	23
3-5	植栽・施設維持管理	24
4	観客誘致実施計画	26
4-1	観客誘致	27
4-2	広報宣伝	28
4-3	行催事	29
4-4	営業参加	33
4-5	協働推進	34
5	会場運営管理実施計画	36
5-1	会場運営	37
5-2	ボランティア	41
5-3	交通輸送	42
6	全市展開計画	46
	資料 準備及び開催体制	50
	各会場計画図	

- 1 第33回全国都市緑化よこはまフェアの概要
- 2 第33回全国都市緑化よこはまフェアの背景と目的

## 1 第33回全国都市緑化よこはまフェアの概要

### (1) 名称

名称：第33回全国都市緑化よこはまフェア

愛称：『ガーデンネックレス横浜<sup>にいぜろいちなな</sup>2017』(Garden Necklace YOKOHAMA 2017)

### (2) 開催期間

平成29年3月25日(土)～6月4日(日)[72日間]

### (3) 開催主体

提 唱：国土交通省

主 催 者：横浜市、公益財団法人都市緑化機構

運 営 主 体：第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会

### (4) 開催理念

『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』をテーマに美しい花と緑豊かなまち横浜の実現

#### 市民力を集結

市民力を発揮できる機会、場を創出

#### 訪れたいまち 横浜

～観光・MICE都市づくり、創造都市への貢献～  
港町横浜の歴史・文化資源を花と緑で魅力を高め、  
世界を魅了する環境未来都市に向け緑の創出を発信

#### 誇れるまち 横浜

～緑豊かなまち横浜を実感～  
「横浜みどりアップ計画」の成果を実感。多くの生き  
物を育む緑豊かな美しいまち横浜を提案

### (5) 来場方式

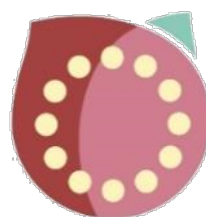
会場等は無料を基本とする。

### (6) 想定来場者数

想定来場者数は500万人とする。

### (7) ロゴマーク・シンボルキャラクター

ロゴマーク・シンボルキャラクターを活用して  
よこはまフェアの魅力をも十分に伝えられるような  
広報宣伝を行う。



Garden Necklace  
YOKOHAMA  
2017

ロゴマーク



シンボルキャラクター  
「ガーデンベア」

## (8) テーマフラワー

「サクラ」(3月から4月)、「チューリップ」(4月)、「バラ」(5月から6月)をテーマフラワーとして設定する。



春の横浜の花の景色

## (9) 展開の方向性

### <よこはまフェア統一主題>

『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』

### <よこはまフェアの愛称「ガーデンネックレス横浜 2017」>

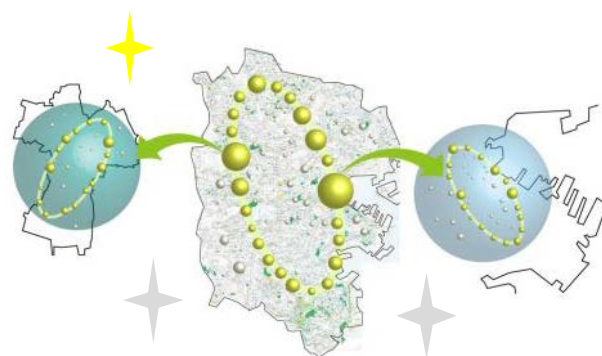
公園などの魅力ある花と緑の資源にさらに磨きをかけ、ネックレスのようにつなぎ合わせていく。

## “ガーデンネックレス横浜 2017”

### 「まち」をつなぐ

市内の魅力となる既存ストックにさらに磨きをかけ、大きなネックレスを構築することで、回遊性や景観的な一体性を生み出すように展開する。

よこはまフェアのメイン会場等の魅力に磨きをかけつなぐことで来場者を魅了するガーデンネックレスを創出する。



### 「人」をつなぐ

花と緑に関わる取組を進めてきた市民団体、地元企業、学校等が培ってきた成果を発信する場を創出する。人と人をつなぐ場や機会を創出し、よこはまフェア後に花と緑に関わる取組が活性化する契機とする。

### 「時」をつなぐ

横浜の歴史の中で育まれてきた、花と緑の文化を発信し、未来へと継承していく。

テーマフラワーである「サクラ」、「チューリップ」、「バラ」を中心に、季節の移り変わりとともに異なる魅力を感じられる街を演出する。既存のイベントと連携した、会期中の会場演出や催事を計画的に行うほか、夜景を重要な要素と捉えて夜間景観を効果的に展開する。

## 2 第 33 回全国都市緑化よこはまフェアの背景と目的 (基本計画より抜粋)

### (1) 全国都市緑化フェアの目的と基本理念

#### (目的)

全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的とするものとする。

{「全国都市緑化フェア開催要綱」(昭和 60 年 1 月 30 日建設省)}

#### (基本理念)

全国都市緑化フェアは、我々一人ひとりが緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、増やし、育てるための知識を得る場として、「緑豊かな街づくり」～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～をテーマに開催するものであり、公共公益施設、一般住宅などの緑化も含めた総合的な都市緑化を、幅広くかつ積極的に推進するための契機にしようとするものである。

### (2) 開催の背景

#### ア 横浜市基本構想(長期ビジョン)

横浜市は、平成 18 年(2006 年)に平成 37 年(2025 年)頃を展望し、基本的指針となる「横浜市基本構想(長期ビジョン)」を策定した。

#### <横浜市が目標とする都市像>

##### 市民力と創造力により新しい「横浜らしさ」を生み出す都市

横浜市は、多様な個性を尊重し、市民自らが多様な力を地域社会で発揮し、市民が生き生きと暮らせる魅力あふれる都市であり続けます。

市民の意識と行動がこれからの横浜を形づくり、新しい「横浜らしさ」を世界に発信し、新たな魅力と活力を創造し続けます。

#### イ 横浜市中期 4 か年計画 2014~2017

横浜市は、横浜市中期 4 か年計画において、観光・MICE\*・創造都市を新たな成長戦略として位置づけ、MICEの拠点都市として国際的な地位の確立を目指している。

また、世界中の人々や企業を惹きつけ、都市の活力と賑わいを創出するまちを目標に、未来のまちづくり戦略においては、『魅力と活力あふれる都市の再生』戦略として、都心臨海部は公共の緑の育成、ネットワーク形成や季節感ある緑花の創出の推進など、郊外部は緑の保全と創出が位置づけられている。

基本施策「施策 35 水と緑にあふれる都市環境」で、全国都市緑化フェアの横浜開催を美しい横浜を国内外にアピールする花と緑の祭典として平成 29 年春の開催を進めることとしている。

また、市民や事業者との協働による緑の創出や、都心臨海部の緑花による街の魅力や賑わいづくりも主な取組みとしている。

※ 企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市・イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込めるビジネスイベントなどの総称

## ウ 横浜市水と緑の基本計画

横浜市は、市民生活の身近な場所に豊かな緑を有しており、早くから緑を守り育てる取組を進めてきた。公園愛護会や市民の森は横浜市が全国に先駆けてはじめた制度である。平成 18 年（2006 年）には、さらに河川や水辺などの環境も一体的に捉えた「横浜市水と緑の基本計画」（計画期間：平成 18 年度～平成 37 年度）を策定し、この中で水と緑の環境を育む取組等を展開している。

## エ 横浜みどりアップ計画

### （新規・拡充施策）

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）は、平成 21 年（2009 年）からの 5 か年計画で、「樹林地を守る」「農地を守る」「緑をつくる」を施策の柱として、市民への周知・PRを進めながら、横浜みどり税を安定的な財源として活用して、樹林地・農地の保全や緑化などの取組を大幅に拡充して推進してきた。

### （計画期間：平成 26～30 年度）

横浜市は、平成 25 年度まで進めた事業の成果や課題、市民意見等をふまえ「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）」を策定し、「みんなで育むみどり豊かな美しい街横浜」を計画理念とし、取組の柱を次のように設定している。

「次世代につなぐ森を育む」

「市民が身近に農を感じる場をつくる」

「市民が実感できる緑をつくる」

施策の柱として、横浜みどり税を安定的な財源として活用し、市民への周知・PRを進めながら、さまざまな事業・取組を展開している。

その事業の中で、“都心臨海部の緑花による賑わいづくり”の取組みが事業化されている。中でも、観光資源となっている山下公園やグランモール公園などの都市公園や港湾緑地、文化施設ほか、各公共空間の地域や施設特性に合わせた季節感ある緑花による空間づくりを集中的に進めることを 5 か年の目標としている。これらの取組に際しては、市民や事業者の協力も得ながら、緑豊かな美しい街をつくる市民全体の機運の盛り上がりにつなげるプロジェクトとしている。

### (3) 開催の基本理念

「全国都市緑化よこはまフェア基本構想」(平成 26 年 12 月、横浜市・公益財団法人都市緑化機構)では、横浜の「歴史と文化」「緑の取組」をさらに広げ、横浜らしい全国都市緑化フェアを目指すために、事業運営、協働体制づくり、会場計画等、新たなフェアを試行することを掲げ『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』という開催の統一主題を定めた。

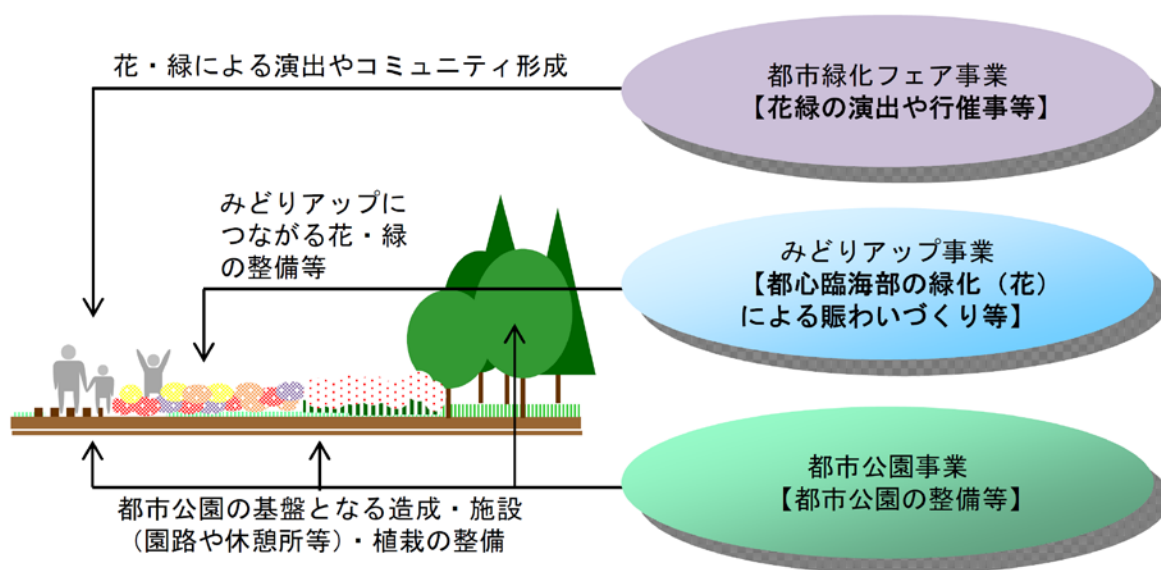
よこはまフェアでは、『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』をテーマに、これまで横浜が培ってきた「歴史と文化」や「緑の取組」を花と緑でさらに引き立て、「訪れたいまち横浜～観光・MICE 都市づくり、創造都市への貢献～」と「誇れるまち横浜～緑豊かなまち横浜を実感～」を展開し、市内外から評価される「美しい花と緑豊かなまち横浜」を実現する。そして、これらの取組やよこはまフェアを契機に、公共空間から率先して緑や花の取組みを集中的に展開し、国内や世界中から訪れる人々をおもてなしするとともに、市民の誇りとなる美しい街づくりを行う。

特に、明治時代に横浜港におけるユリ根の輸出等を通して「欧州の園芸文化の発展に横浜が寄与」しており、横浜は欧州に対する花や緑に関する日本の窓口として機能していたことから、花や緑の歴史を語るうえで全国都市緑化フェアを横浜において行うことに大きな意味がある。

### (4) ストック型の緑化フェアの会場づくりのイメージ

花と緑の効用を活かし、未来に向けた持続的なフラワーランドスケープの展開に向けて、横浜がこれまで培ってきた「歴史と文化」や「緑の取組」が、未だ原石として眠っているものも少なくないと認識し、今後、掘り起した原石に磨きをかけ、紡ぐことで広がりをもたせていくと意識することが重要である。

横浜の「歴史や文化」や「緑の取組」の大小様々な原石(資源)を美しいガーデンに育成し、紡ぐ(ネットワーク化する)ことで、観光都市としての回遊性や景観的な一体性を生み出し、横浜市全体が美しいガーデンシティへと発展していくことに繋げる。



〈ストック型フェアの実現に向け他事業を活用した会場づくりイメージ〉

## 3 会場計画



## 3-1 会場構成

### (1) 会場構成について

よこはまフェアの会場は、統一主題・開催理念を実感・体感できる「みなとガーデン」及び「里山ガーデン」を『メイン会場』として設定する。また、市内の花や緑の見どころがある施設や横浜市の緑の取組に係る施設を『パートナー会場』として設定する。

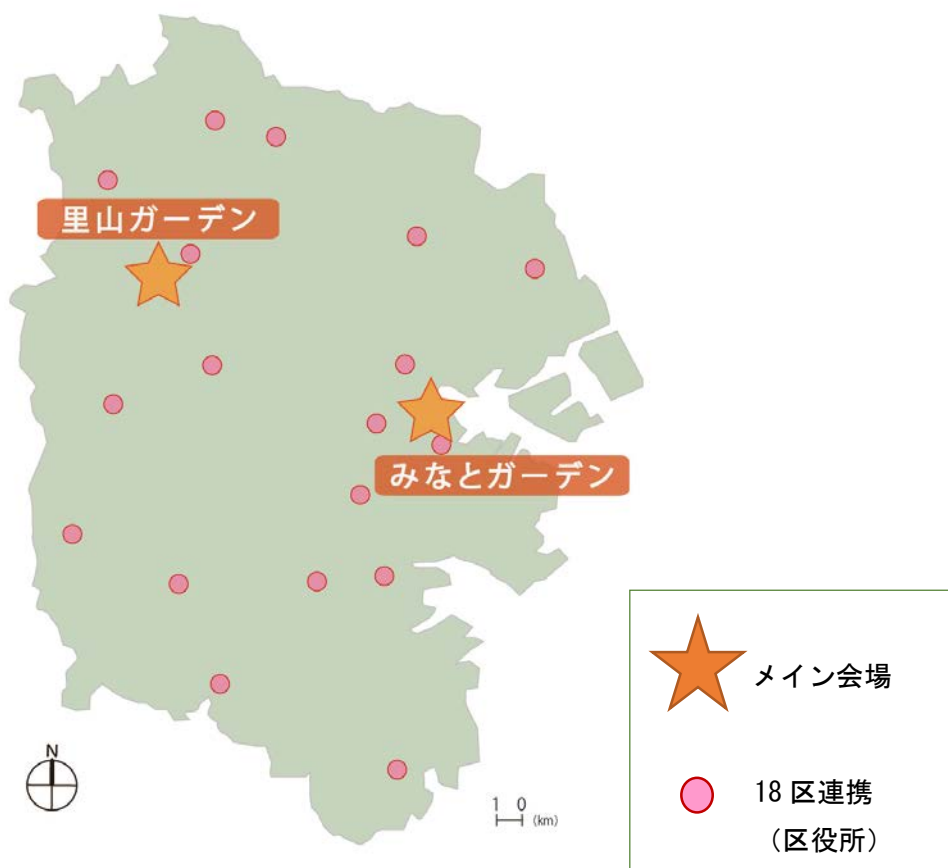
さらに、区役所等との連携により全市的な展開を図る。

#### ○メイン会場

- ・よこはまフェアのメイン会場は、花と緑で彩り、市の緑の取組の成果を発信する都市公園及び港湾緑地等を設定。
- ・都心臨海部の『みなとガーデン』（山下公園、グランモール公園、港の見える丘公園、横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク、新港中央広場、運河パーク）及び郊外部の『里山ガーデン』（横浜動物の森公園植物公園予定地）を設定する。

#### ○パートナー会場

- ・よこはまフェアを市内全体で盛り上げていくために、相互に広報PR等を行い、横浜市内の自然の豊かさの認知や親しみを高めていく場所としてパートナー会場を設定する。



全市展開図

## (2) メイン会場の展開

### ア みなとガーデンにおける展開イメージ

#### (エリアについて)

- ・ JR線の北側エリアとし、JR横浜駅東口に近接する帷子川の右岸より広がるみなとみらい 21 地区から山手地区までの横浜港に面した臨海部とする。

#### (エリアの特色)

- ・ みなとガーデンは、JR桜木町駅、関内駅、横浜高速鉄道みなとみらい線みなとみらい駅、馬車道駅、日本大通り駅、元町・中華街駅等からのアクセスが良い。
- ・ 毎年春には屋内外において様々な種類のイベントが多数開催されている。
- ・ 来街者の受け入れや宿泊に対応可能で、周辺に観光資源や飲食施設等も多く、付加価値の高いサービスを提供でき、多くの人が横浜らしさを感じることができる場所である。

#### (展開イメージ)

- ・ みなとガーデンでは、『歴史と未来の横浜』をコンセプトとする。
- ・ みなとガーデンには「メインガーデン」と「まちなかフラワースポット」を設定する。  
メインガーデン：企業や自治体の出展花壇、主催者の花壇を設置する場所として整備する。  
まちなかフラワースポット：街全体の花と緑による賑わいを演出し、メインガーデンの回遊ルートとなる公園や駅前等を設定する。
- ・ 港町横浜の歴史と文化を体験できるエリアは、バラ園などで既存ストックの魅力を最大限に活かす。
- ・ みなとみらい 21 地区を中心にしたエリアは企業等と連携した取組を展開する。



みなとガーデン展開イメージ

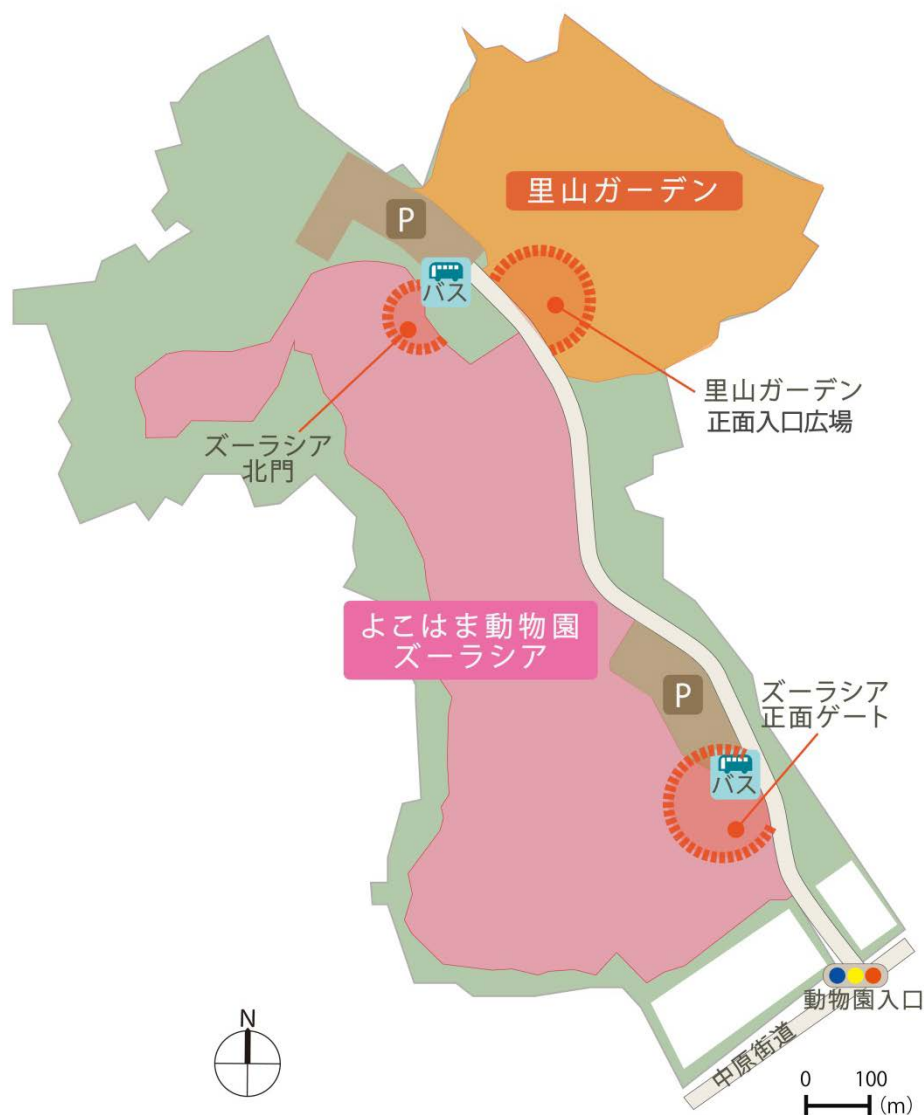
## イ 里山ガーデンにおける展開イメージ

### (エリアの特色)

- ・里山ガーデン（横浜動物の森公園の植物公園予定地）は、横浜らしい豊かな里山の緑が残る場所であり、横浜市水と緑の基本計画における「緑の 10 大拠点」に位置付けられ、緑地の保全を図るとともに、市民のレクリエーション空間としての活用を図ることとしている。
- ・同公園内では、隣接するよこはま動物園ズーラシアが平成 27 年に全面開園し、里山ガーデンとの相乗効果による誘客が期待できる場所である。交通アクセス、駐車場等、既存のズーラシアのインフラの活用も図れるため、一体的な展開が効率的である。

### (展開イメージ)

- ・里山ガーデンは『緑豊かな横浜』をコンセプトとする。
- ・里山の魅力、楽しみ方を身近に実感、体感できる会場として、豊かな横浜の緑を楽しむライフスタイルを提案する。
- ・横浜みどりアップ計画をはじめとする緑の取組で保全、活用してきた「郊外部の緑」の成果をアピールするエリアとする。



里山ガーデン地図

### (3) パートナー会場の展開

よこはまフェアを市内で盛り上げるため、よこはま動物園ズーラシアや横浜イングリッシュガーデン等、市内の花や緑の見どころがある施設や横浜市の緑の取組に係る施設を「パートナー会場」として設定し、各施設の管理者等と協力しながら、広報の連携のほか、連携した事業を展開する。

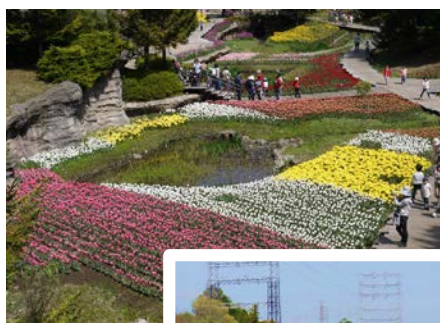
#### (実施内容)

##### ア 相互の広報PR活動

- ・パートナー会場でのよこはまフェアののぼり、看板(パネル)、寄せ植え(希望制)の設置  
※物品は実行委員会から提供
- ・パートナー会場が行う広報にあわせたよこはまフェアのPR  
(パートナー会場が発行する印刷物等でのよこはまフェアの紹介を掲載)
- ・よこはまフェアでパートナー会場を紹介するチラシの発行
- ・よこはまフェアのホームページでパートナー会場を紹介、希望によりリンクを設定

##### イ イベント等での連携(パートナー会場と別途協議)

- ・パートナー会場で行われるイベント等でよこはまフェアをPR
- ・よこはまフェアのPRと合わせパートナー会場を紹介するイベント(屋内展示等)の開催(予定)



よこはま動物園ズーラシア



横浜イングリッシュガーデン

(参考)横浜市の花や緑に係る施設、緑の取組に係る施設(候補)



寺家ふるさと村



舞岡ふるさと村



俣野別邸庭園



こども自然公園

## 3-2 会場設計

### (1) 基本的な考え方

#### ア 市民・企業が輝く舞台づくり

- ・開港の歴史とともに作りあげてきた魅力的な公園緑地をはじめ、横浜みどりアップ計画で保全した緑や、都心臨海部の緑花による賑わいづくりなど、これまでの緑のストックを、市民、企業が活躍するための舞台として磨きをかけ、最大限に活用する。
- ・横浜の市民、企業など多彩な参加者による主体的な活動、作品発表の場を設けるとともに、花と緑をきっかけとした相互交流の場とする。
- ・花と緑を題材とし、地域産業の発展に資する会場整備を行い、横浜を元気にする。

#### イ 横浜の歴史と文化でおもてなし

- ・来街者が横浜の魅力を再発見し実感できるよう、横浜の美しい景観資源を引き立てる花と緑による演出を行う。
- ・周辺施設との空間的な連続性や木陰などの休憩場所の確保により、誰もが快適に過ごせる会場づくりを行う。

#### ウ 未来に残すガーデンネックレス

- ・会場間、各会場内をつなぐ回遊動線を花と緑により演出し、観光都市としての景観を形成する。
- ・会場運営、催事等に使用する施設は、可能な限り既存施設の活用や効率化を図る。
- ・各会場において、横浜の代表的な花であるバラやサクラ、チューリップを主体に様々な宿根草と組み合わせたガーデンを育成し、市民とともに将来にわたって育む場とする。
- ・里山ガーデンについては、整備した基盤を、今後の横浜動物の森公園植物公園の計画、整備に生かしていく。

## (2) みなとガーデンの会場設計

### ア 会場全体図



みなとガーデン全体図

#### <日本大通りエリア>

象の鼻パーク、日本大通り、横浜公園

#### <みなとみらいエリア>

グランモール公園、新港中央広場、運河パーク

#### <山下・山手エリア>

山下公園、港の見える丘公園

## イ 日本大通エリアの展開

### (ア) 象の鼻パーク

#### 「ガーデンベアの庭」

よこはまフェアのシンボルキャラクターであるガーデンベアを使った主催者花壇「ガーデンベアの庭」をよこはまフェアのシンボリックなガーデンとして設置する。



©ITOON/GN2017

ガーデンベア



企業出展「もてなしの庭」

#### 「企業出展」

象の鼻パークは横浜港発祥の地として開港以来、多くの方をお出迎えしてきたことから「もてなしの庭」をテーマに企業出展を展開する。

### (イ) 日本大通り

イチョウ植栽帯に加え歩道部の飾花をおこない400mの花回廊を演出する。また、物販コーナーやイベントの開催、既存商店との連携により賑わいを創出する。



日本大通り

#### 「自治体出展花壇」

「コンテナから溢れだす各地の街並み・風景花壇」をモチーフとした、25自治体（予定）のコンテナ花壇で彩る。



自治体出展花壇

#### 「マリーナ花壇」

歩道部に横浜の海を連想させる花壇を設置する。

#### 「ばらサミット」

「ばら」を市町村の花として定めている自治体による会議（ばらサミット）に合わせ、参加自治体のバラを展示する。



マリーナ花壇

## (ウ) 横浜公園

### 「16万本のチューリップガーデン」

横浜公園では、スプリングフェアに合わせて市民とともに植えた16万本のチューリップが咲き誇る。さらに、時間とともに色が変化する新品種の「ラバースタウン」を使った華やかなコーナーをつくる。チューリップ後の会期中も花が楽しめるように演出する。



16万本のチューリップ



チューリップ新品種「ラバースタウン」

### 「横浜DeNAベイスターズとの協働ガーデン」

横浜が誇るプロ野球球団「横浜DeNAベイスターズ」の本拠地がある横浜公園。「横浜DeNAベイスターズ」と連携して、野球に親しめ、フォトスポットにもなるような「ベイスターズガーデン」（仮称）をつくる。

I★YOKOHAMA



©YDB

### 「日本庭園における和の演出」

よこはまフェア会場唯一の日本庭園で和の花を使った和の空間を演出する。



日本庭園の和の演出



## ウ みなとみらいエリアの展開

### (ア) グランモール公園

#### 「企業出展の緑化壁」

企業出展による壁面緑化されたコンテナ（グリーンキューブ）が来場者を楽しませるとともに、緑化壁の技術を紹介する。

#### 「農による賑わいの場の創出」

農をテーマに緑化されたコンテナ（アグリキューブ）で横浜農場(※)の展開の一環として市内産農畜産物の販売・PRを行う。

※横浜市において、意欲的な農家や多彩な農畜産物、都市に残る貴重な農景観などの横浜の農業の魅力を「横浜農場」として発信している。

#### 「美術の広場の夜間演出」

デジタルテクノロジーを用いて、美術の広場の樹木等に体験・参加型の光の演出を行う。



農による賑わいの場の創出

### (イ) 新港中央広場

#### 「ナチュラルガーデン」

横浜赤レンガ倉庫やランドマークタワーなど、歴史と都市が共存する横浜らしい風景を生かし、季節の花と心地よい風や木陰により来場者のおもてなしを図る。

#### 「企業・団体出展」

会場のモチーフに合わせ「ナチュラルガーデン」をテーマとし、庭園出展を展開する。



ナチュラルガーデンの風景

### (ウ) 運河パーク

#### 「企業・団体出展」

都市生活を彩る庭をイメージした「アーバンライフガーデン」をテーマとし、庭園出展を展開する。



企業出展の様子

## エ 山下・山手エリアの展開

### (ア) 山下公園

#### 「未来のバラ園」

市の花であるバラと草花の華麗な共演による色彩のコンチェルトが楽しめる「未来のバラ園」として展開する。また、よこはまフェアの開催に合わせ新品种のバラも導入する。

夜はローズゲートなどを活用したイルミネーションやライトアップで、沈床花壇の空間を立体感豊かに演出する。



ローズガーデンのライトアップ

#### 「市民連携花壇」

横浜市の公園愛護会等と連携してつくる「球根ミックス花壇」を設置する。

オランダの最新式の球根の植え方について、プロのガーデナーから教わりながら実際に花壇の施工を行う。



球根を使った市民花壇

#### 「サクラコンテナ」「フォトスポット」

公園海側の園路を中心に、横浜港からワシントン等に渡った「シドモア桜」のコンテナ花壇やフォトスポットを設置する。

#### 「天空のパティオ」

公園内一番の眺望スポットである世界の広場では大壁面をバラとハンギングバスケットで覆い、高台での異空間を演出する。



サクラコンテナ



フォトスポット



天空のパティオ

### （イ）港の見える丘公園

#### 「ハンギングバスケットの丘」

横浜の代表的な観光地でもある展望台を  
100基のハンギングバスケットで装飾する。

また、ハンギングバスケットのコンテスト  
を開催する。



ハンギングバスケットの展示

#### 「イングリッシュローズの庭」

イギリス館の前に広がるローズガーデン  
は、開港文化を現代に引き継ぐ西洋館とともに、  
130品種、約1,200株のイングリッシュ  
ローズやシルバー、ブルーの一年草や宿根草  
で装飾する。



イングリッシュローズの庭

#### 「香りの庭」

150種の香りのバラと100種の香りの植物  
を集めたガーデン。ローズアーチではバラの  
フレグランスシャワーが降り注ぐ。



香りの庭

#### 「趣味の園芸 50 t h ガーデン」

2017年に放送50周年を迎える「趣味の園芸」  
の記念ガーデン。《家族が遊べる庭》を  
コンセプトに平成28年4月から平成29年3月  
まで、ガーデンを徐々に作りあげる。

ガーデンづくりはTV番組「趣味の園芸」  
でも月1回紹介していく。



趣味の園芸ガーデン（イメージ）

### (3) 里山ガーデン ア 会場全体図



里山ガーデン会場全体図

#### イ 会場の展開

##### 「横浜の花で彩る大花壇」

パンジー、ビオラ等の横浜市内産の花をはじめ、チューリップ、ワイルドフラワー等の春を代表するたくさんの花々で来場者をお出迎える。

既存の地形を生かしたデッキや、広場など、から見るダイナミックな眺望や、花々の色や植え方を変えることで、花壇の中を歩きながら景観の変化が楽しめるように演出する。



横浜の花で彩る大花壇

### 「谷戸のカキツバタ園」

谷戸の湿地環境を生かした県内唯一のカキツバタ園。

園路や水辺に張り出した観賞デッキから、カキツバタと周辺のみずみずしい新緑、園路沿いのヤマブキ等の美しいコントラストを楽しめるように演出する。



谷戸のカキツバタ園

### 「フォレストアスレチック」

現況の樹木の上にワイヤーを張り、滑車を使って滑り降りる施設等、木々の間を移動しながら楽しめる、新しいタイプのアスレチックを設置する。

子どもから大人まで、幅広い年齢層に楽しんでもいただけるよう、様々な難易度のコースを設定する。  
(有料)



フォレストアスレチック

### 「正面入口広場」

賑わいを彩る花壇や出展ブースにより期待感を高め、さらに、森の遊びや楽しみを体験する入口、生きものと出会う入口、花を楽しむ入口を設置し、フォレストアスレチックや大花壇など、希望する施設まで期待感を持ちながら誘導できるように演出する。



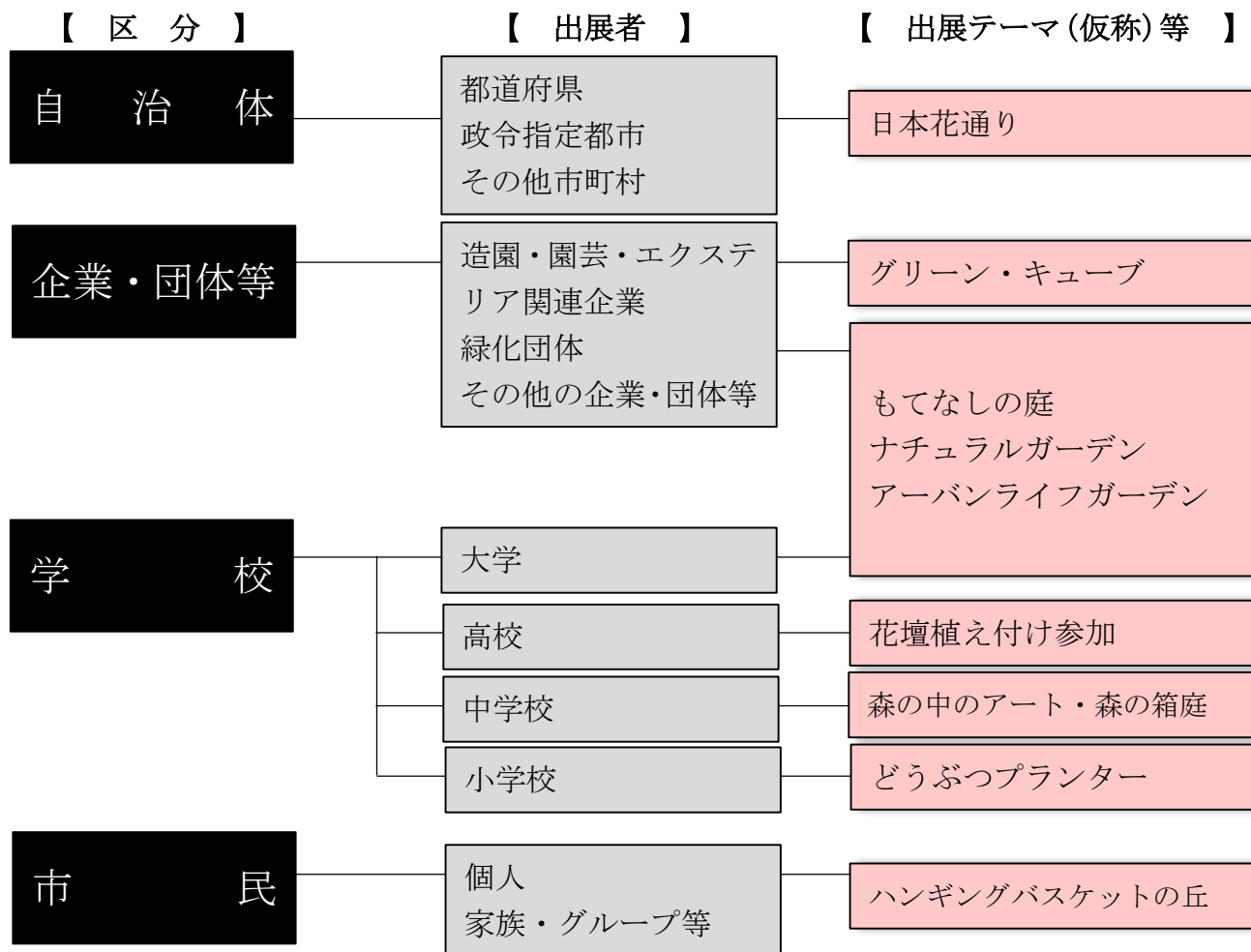
正面入口広場

### 3-3 屋外団体出展

#### (1) 屋外団体出展計画の概要

- ・屋外団体出展として、自治体、企業、団体、学校、市民による花壇や庭園を展開する。
- ・自治体出展では、各地の街並みや風景などを花や緑を活用して表現したコンテナ花壇を展開する。
- ・企業、団体出展では、造園や園芸関連を中心とした企業等による技術を披露する場として、様々なテーマで庭園、花壇、緑化壁などを展開する。
- ・学校、市民出展では、多くの方々が花や緑による会場づくりに参加する機会を設ける。

#### (2) 出展区分と作品形態



### 3-4 植物調達

#### (1) 植物利用の考え方

よこはまフェアの基本的な考え方に基づき、テーマフラワーである「サクラ」「チューリップ」、「バラ」のほか、横浜市内で生産が盛んな植物材（パンジー等）を積極的に活用し、春から夏への季節の移り変わりとともに、会場ごとに特色のある景観を楽しめる花と緑の演出を図る。



【サクラ】



【チューリップ】



【バラ】



【パンジー】

#### (2) 植物調達の基本的な方針

- ・みなとガーデンと里山ガーデンの立地と気候特性を十分に考慮し、市内で生産が盛んな花卉を優先的に調達する。
- ・よこはまフェア後も継続的に植栽を楽しむことができる木本類、宿根草、多年草等を積極的に調達する。

#### (3) 植物の調達

- ・よこはまフェアでは、短期間に多品種、多品目の植物材を大量に使用するため、あらかじめ使用する植物材を生産、育成することで、安定的かつ計画的な植物調達を図り必要に応じて会場搬入前の維持管理を行う。
- ・よこはまフェアの植物調達は、原則として市内生産団体等から構成される植物調達協議会（横浜農業協同組合、横浜市造園協会）から行い、各会場の設計のイメージに合致した品種、規格、品質の植物材を市内、市外から円滑に調達する。

### 3-5 植栽・施設維持管理

#### (1) 基本的な考え方

- ・よこはまフェア会場の整備及び維持管理を効率的に行うため、会場整備（仮設物の設営）、植栽管理（大規模な植替え、補植、灌水、草刈）、施設点検、施設小破修繕、施設撤去を一体的に実施する。実施にあたっては、よこはまフェア会場を複数のエリアに分けて実施する。
- ・里山ガーデンは、休園日を設けずに大量の植替え作業を短時間で行う必要があるため、隣接するズーラシアの資機材や、作業ヤード、ストックヤード等を使用し、一体的な維持管理作業を行うことで作業効率の向上を図る。
- ・会場を期間中常に美しく演出し、季節に合わせて計画的な植栽の植替えを行い、高水準の花壇の維持管理を行う。

#### (2) 植栽の大規模な植替え

- ・オープン前植栽に加え、約 2 か月というよこはまフェア期間の中で最大 2 回の植替えを行い、来場者に対して常に良好な景観を提供する（下表）。

##### 【植替え時期】

項目	植替え時期
オープン前植栽	平成 28 年 10 月中旬～29 年 3 月中旬
植替え（1 回目）	平成 29 年 4 月下旬
植替え（2 回目）	平成 29 年 5 月上～中旬

- ・観賞性の高い花壇を維持するために、適切に維持管理を行う。
- ・大規模な植替えを行う際に、会場内に観賞できない箇所が生ずるため、HP や会場内の案内所等を通じて周知を図る。

#### (3) 施設点検

- ・維持管理業者による施設点検及び会場警備の際に、施設の不具合が発見された場合は、その情報を速やかに実行委員会で集約し、適切に対応を図る。
- ・実行委員会は維持管理業者等に指示を行い、速やかに安全対策、補修等の措置を講ずる。

#### (4) 植物の状況調査

- ・よこはまフェアのみどころ等を案内する情報発信に生かすことができるよう、植物維持管理の際に、会場内の植栽の開花状況を調査する。

#### (5) 植物リサイクル

- ・フェアで使用した植物をよこはまフェア終了後に、公園や市内施設等へ配布するなどの活用をはかる。





## 4 観客誘致実施計画

## 4-1 観客誘致

### (1) 基本的な考え方

- ・集客500万人を達成するために、様々なエリアや幅広い層からの誘客を図る。
- ・港町横浜の歴史や、緑豊かな郊外部の観光資源を活用する。
- ・テーマフラワーや開花時期等、花を中心とした情報を効果的に提供する。
- ・みなとガーデンは既存のイベントと連携し、街の賑わいを創出する。
- ・里山ガーデンはズーラシアと連携して、一体的に誘客を図る。

### (2) 戦略のポイント

- ・市内、首都圏、全国、海外とターゲットごとに手法を変え、様々なエリアからの誘客を図る。
- ・よこはまフェアへの興味や愛着、期待感を持てるよう、開催前からシンボルキャラクター「ガーデンベア」を効果的に活用する。
- ・テーマフラワーであるサクラ、チューリップ、バラをはじめとして、各会場の開花時期に合わせた魅力を発信して来場を促し、リピーターを創出する。
- ・開催前から継続的にキャンペーン活動等を実施し、認知度を高める。また、既存イベントと連携し、広報の連携や来場者サービスを含めた展開による相乗効果を狙う。

### (3) 具体的な実施案

#### ア 様々なエリアからの誘客展開

国内の誘客は、旅行商品によこはまフェアを組み込むことや、旅行代理店の店頭等でチラシ等の配布を行う。

また、鉄道事業者、高速道路事業者と連携した誘客の働きかけを行う。

海外からの誘客は、来日外国人旅行者に向けて羽田空港などでのPRを行うとともに、在日外国観光局への情報提供を通じ、日本の旅行を計画している旅行予定者にむけたPRを行う。また、多言語化対応のパンフレットの作成、ホームページによる情報提供を行う。

#### イ シンボルキャラクターによる誘客展開

「ガーデンベア」を活用し、案内サイン、商品開発、広報媒体等にアイキャッチとして展開することにより幅広い層の誘客を図る。



©ITOON/GN2017

シンボルキャラクター

#### ウ 開花時期に合わせた観客誘致

みなとガーデンは、横浜観光の中心地である立地特性を生かし、花と緑で演出して観光集客につながるプロモーションを展開する。里山ガーデンは、花の開花や里山の魅力など話題性のある要素で誘客につなげる。

#### エ 事前PR活動

キャラバン隊を結成して花、緑に関するイベント会場でのキャンペーン活動や区民まつり等18区のイベントでのPR活動のほか、既存イベントと連携を図る。また、半年前、100日前のプレイベントを実施し、開催前からPRを行う。

## 4-2 広報宣伝

### (1) 基本的な考え方

- ・よこはまフェアの目的を十分に伝えるために、メイン会場及びパートナー会場等の魅力を広報し、回遊性の向上を図る。県内をはじめ全国エリアに拡大でき、幅広い世代へ情報を届けられるテレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のマスメディアを活用したPRをする。
- ・多くの市民をはじめ、市外からの訪問者に訴求効果がある交通広告を活用する。
- ・近年の集客として欠かすことのできないインターネットメディアを活用して、よこはまフェアの様々な情報を提供していく。
- ・チラシやポスター、のぼり等を制作し、公共施設等での掲示やキャンペーン等のPR活動で活用し、よこはまフェアの魅力や内容の周知を図る。

### (2) 戦略のポイント

- ・メイン会場の花の見どころ、イベントの開催情報等をテレビ、ラジオ、新聞等、各媒体の特性を生かして効率よく広報する。
- ・鉄道路線の電車内、駅構内でのポスター掲出等、効果的な広報宣伝を行う。
- ・テーマフラワーであるサクラ、チューリップ、バラの見どころをはじめ、よこはまフェアの魅力を十分に伝えるために、インターネットメディアを活用し、メイン会場及びパートナー会場等の情報を伝えていく。

### (3) 具体的な実施案

#### ア マスメディア活用

- ・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、フリーペーパーなどマスメディアを活用する。
- ・広報よこはまなど、横浜市が持っている広報媒体を積極的に活用する。
- ・NHKや民放の報道番組や情報番組への積極的な情報提供を行う。

#### イ 交通広告

- ・市営地下鉄や市内へ乗り入れる鉄道（私鉄及びJR）に、電車内広告、駅構内にポスター等を掲出する。
- ・市内を運行するバスを中心にラッピングバスや車内でのポスター掲出等、様々な広報の手法を検討する。

#### ウ インターネットメディアの活用

ホームページ、SNSを活用し、メイン会場及びパートナー会場等における花の見どころやイベント情報等を伝える。

#### エ 広報ツール

ポスター、チラシ、ガイドブック、リーフレット等、実行委員会が発行する広報物により、横浜を訪れた人々へよこはまフェアの魅力をしっかりと伝えていく。

## 4-3 行催事

### (1) 基本的な考え

- ・ よこはまフェアに関わる市民、企業、学術関係等の個人、団体と連携し、行催事を実施する。
- ・ 花と緑に親しみ、実感でき、来場者が自ら考える契機としていく。
- ・ テーマフラワーなどの開花のタイミングに合わせて、花と緑の魅力を感じ楽しむことができる行催事を展開し、よこはまフェアの理念や方針を浸透させる。
- ・ 会場間の回遊を促すイベントで「ガーデンネックレス」が実感できる機会を創出する。

### (2) 行催事区分

事業名	説明	主な内容
公式行事	フェアの節目に実施する行事	オープニングイベント
		クロージングイベント
		全国都市緑化祭
コンテスト	コンテスト事業	庭園コンテスト
		ハンギングバスケットコンテスト
屋内展示	フェア期間中に屋内で実施する展示事業	みなとガーデン展示
		里山ガーデン展示
屋外団体出展	フェア期間中に屋外で実施する出展	みなとガーデン
		里山ガーデン
主催イベント	期間中に主催者が実施するイベント	講演、シンポジウム、ガイドツアー、スタンプレラリー、ワークショップ、体験参加型プログラム等
連携イベント	行政・企業・市民団体等が主催し、お互いの事業の盛り上げにつながる既存または新設のイベント等	
応援イベント	企業等が主体的に行う、フェアのPRが盛り込まれたイベント等	

## ア 公式行事

### (ア) 実施方針

会場の特性を活かした行事を実施する。

【みなとガーデン】横浜の歴史や花の魅力を感じることができるプログラムを実施する。

【里山ガーデン】市民が主役となる、楽しさと親しみやすさに溢れたプログラムを実施する。

### (イ) 具体的な実施案

- ・オープニングイベント（日程：平成 29 年 3 月 25 日（土））  
【みなとガーデン】テープカット等（象の鼻パーク）、式典（大さん橋ホール）  
【里山ガーデン】テープカット、里山ガーデンセレモニー等
- ・クロージングイベント（日程：平成 29 年 6 月 4 日（日））  
【みなとガーデン】式典（大さん橋ホール）  
【里山ガーデン】里山ガーデンセレモニー
- ・全国都市緑化祭（フェア会期中の 1 日）

## イ コンテスト

### (ア) コンテストの種類と対象

出展形態	期間	出展区分	場所	テーマ（仮称）
庭園出展	フェア期間中 通期	企業・団体等	象の鼻パーク	もてなしの庭
			新港中央広場	ナチュラルガーデン
			運河パーク	アーバンライフガーデン
ハンギング バスケット	フェア期間中 10 日間程度	個人	港の見える丘公園	未定

### (イ) 庭園等コンテスト

#### ・賞体系（案）

実行委員会 表彰	表彰式	備考
金 賞	閉会式	全出展作品に いずれかの賞を 授与
銀 賞		
銅 賞		

関連表彰	表彰式	備考
国土交通大臣賞等	都市緑化祭	金賞作品から選定

#### ・審査概要（案）

審査日程：平成 29 年 3 月 21 日（火）または 22 日（水）※フェア開始日：3 月 25 日（土）

審査員：造園や園芸に関する知識を有する学識経験者や専門家のほか、全国都市緑化フェアの提唱者である国土交通省、よこはまフェア及び全国都市緑化祭の主催者である神奈川県及び横浜市等 7～10 名程度

### (ウ)ハンギングバスケットコンテスト

港の見える丘公園で実施する屋外団体出展「ハンギングバスケットの丘」の一環として、ハンギングバスケット協会と協力して実施。

作品数	スタイル	賞体系
50 基～70 基	壁掛け式	未定



ハンギングバスケット

#### ・審査概要（案）

審査日程：出展開始日または翌日 ※出展開始日：平成 29 年 4 月下旬を予定

審査員：園芸に関する知識を有する専門家や横浜市等

## ウ 屋内展示

### (ア)みなとガーデン展示

#### (概要)

花、緑の魅力を伝える屋内ならではの企画を実施するとともに、横浜市の緑化施策や緑化関係の市民団体の活動紹介、花と緑に関する市民作品の展示などを行う。

日程：平成 29 年 3 月 25 日（土）～6 月 4 日（日）

会場：横浜赤レンガ倉庫 1 号館、みなとガーデン近隣施設 等

#### (会場全体基本構成)

- ・植物で空間を美しく彩り、花や緑を楽しめる空間となる会場装飾をする。
- ・植物アート作品・フラワーアート作品等で飾花する。
- ・横浜市の緑化施策や公園愛護会等、緑化に関する活動を行う市民団体等を紹介する。
- ・来場記念となるような花かんむり、フラワーアフロ、ガーデンベア等を活用したフォトスポットを設置する。

#### (イベント・企画展開)

- ・スポットイベント  
テーマフラワー等を使ったワークショップなどを実施する。
- ・特別企画展示  
横浜の花や緑に関する歴史や、フラワーアーティスト等による特別作品展示などを実施する。
- ・市民作品展示  
花に関する市民の作品を展示する。



屋内展示のイメージ

### (イ)里山ガーデン展示

横浜市の緑化施策や森づくり市民団体の活動を展示・紹介する。

日程：平成 29 年 3 月 25 日（土）～6 月 4 日（日）

会場：里山ガーデン正面入口広場 休憩施設等

内容：横浜市の緑化施策や森づくり市民団体の活動紹介等

## エ 主催イベント

### (ア) 実施方針

- ・会場間の回遊を促進し、「ガーデンネックレス」を体感できる事業を展開する。
- ・街の賑わいを創出し、花と緑を身近に感じる体験を通じて緑化に対する理解を深めてもらう。
- ・企業や団体等と連携し、効率的かつ効果的な事業を実施する。

### (イ) 講演会・シンポジウム

横浜市の緑化施策の成果を発信し、今後の横浜の都市緑化のあり方を考える契機とする。  
期間中に 2 回程度実施する。

第 1 回：平成 29 年 3 月頃

横浜の港における花や緑の輸出入や市内緑化の歴史をたどり、都市緑化のあり方を考える。

第 2 回：平成 29 年 5 月末頃

よこはまフェアから、市民力を活かした都市緑化のあり方を発信する。

### (ウ) その他

- ・ウォーキングや専門家によるガイド等、特色のあるガイドツアー
- ・会場の回遊性を高めるスタンプラリー
- ・花と緑を身近に感じる体験ができるワークショップ
- ・里山の魅力が体感できる参加型プログラム など



ワークショップのイメージ

## オ 連携イベント

「よこはま花と緑の春フェア」「世界トライアスロンシリーズ横浜大会」「日本フラワー&ガーデンショウ」など、メイン会場等で実施されるイベントと連携し、よこはまフェアのPRや開催を盛り上げる。

よこはまフェアのホームページやチラシでのイベントの紹介、のぼりやノベルティグッズの配布、よこはまフェアのキャンペーンの実施等でイベントを相互に盛り上げ、よこはまフェアに訪れる皆様が楽しんでいただける取組を進める。



日本フラワー&ガーデンショウ  
開催例（平成 27 年）

## カ 応援イベント

企業、市民団体、学校等が主体的に行い、よこはまフェアのPRが盛り込まれたイベント等を「応援イベント」として位置づけ、チラシの提供やロゴマークの使用等により、よこはまフェアのPRや開催機運の盛り上げを図る。

また、応援イベントの概要等は、よこはまフェアのホームページに掲載し、相互に広報を行うことにより、企業等の活動とよこはまフェアの盛り上げの相乗効果を図る。



## 4-4 営業参加

### (1) 基本的な考え方

- ・ 飲食やよこはまフェアオリジナルグッズ販売を含めた物販出店を中心に展開する。
- ・ 「みなとガーデン」と「里山ガーデン」は周辺環境が異なるため、それぞれの会場特性を踏まえた展開とする。
- ・ 「買って帰りたい」と思える、よこはまフェアにふさわしい質が高い商品を展開する。
- ・ 横浜らしさを活かした飲食サービスを提供する。

### (2) 飲食サービス

ア みなとガーデンでは、会場周辺の既存店舗と連携し飲食サービスを行う。

- ・ 各店舗でのよこはまフェア期間中の限定メニューの提供
- ・ パンフレットに店舗情報を記載し既存店舗への誘導 等

イ 里山ガーデンは森の雰囲気と調和するキッチンカーやカフェなど、緑豊かな自然を楽しみながら飲食できるサービスを会場内で提供する。

ウ 横浜の農家や小売店が出店し、横浜ならではの食材に出会えるショップなど、「食べる・買う・体験する」が楽しめる新しいタイプのマルシェを展開する。



キッチンカーのイメージ

### (3) 物販の展開案

- ・ よこはまフェアのシンボルキャラクターやロゴマークを効果的に活用した、オリジナルグッズを展開する。
- ・ よこはまフェアの会場だけでなく、既存の店舗等と連携して、商品を展開する。
- ・ よこはまフェアの会場で花を楽しんだ来場者が、家に帰っても花を楽しめるよう、会場内や会場周辺で花の販売を展開する。



オリジナルグッズのイメージ



花の販売

## 4-5 協働推進

### (1) 基本的な考え方

市民との協働の仕組みを活用し、市民、学校、市民活動団体（NPO法人など）、企業、団体などの参画、参加を促し、多様な主体との協働により、よこはまフェアを実施する。

### (2) 戦略のポイント

- ・これまで横浜市で培ってきた公園愛護会やよこはま緑の推進団体等の既存の仕組みや組織を基盤として、多くの市民ボランティアが参加、参画しやすいよこはまフェアを実現する。
- ・よこはまフェアでの経験、体験を通じて、都市緑化の意識や知識の向上、自発的な活動を誘導するきっかけづくりを目指す。

### (3) 具体的な実施案

#### ア 市民との連携

##### (ア) 花壇管理ボランティアへの参加

メイン会場の花壇管理を実行委員会だけでなく、ボランティアも参加することで、市民とともに魅力的な会場づくりを進める。  
ボランティア参加者には、植物管理に関する講習会等を実施してスキルアップを図る。



花壇管理ボランティア  
(ex) あいちフェア)

##### (イ) 公園愛護会との連携

横浜市の全市的な魅力を発信するため、市民の力で作る「横浜市民花壇」を設置する。市内の公園愛護会と連携、協力し、専門家による講習会等を実施しながら、よこはまフェア終了後も各公園で活用できる技術等を取り入れて花壇を作成する。



市民との連携 (ex) しずおかフェア)

#### イ 学校との連携

市内の小学校が装飾したプランターカバー（動物にみたてたもの）を里山ガーデンに設置することにより、会場づくりへの参加を促す。

また、会場近隣の学校が、会場内での花壇づくり等に参加できる企画、施設整備を行う。

#### ウ 企業・団体等との連携（一部再掲）

企業や団体等が緑化に関する技術や活動等を紹介する場として庭園出展エリアを設置する。  
また、企業が有する緑化技術や取組等を紹介するほか、連携して魅力ある会場づくりを進める。

[公園での連携例]

- ・横浜公園に横浜DeNAベイスターズと連携したガーデンを制作する。
- ・港の見える丘公園に、『NHK「趣味の園芸」50th（50周年）ガーデン』を、平成28年4月から1年かけて制作する。（庭造りの様子を月に1回番組中で放映）

## エ 商店街や商業施設等との連携

市全体でよこはまフェアを盛り上げるため、商店街と連携し、プランター等を設置する。また、メイン会場周辺の商業施設等と連携して広報、プロモーション活動を行っていく。

## オ 区役所との連携

各区で横断幕やのぼりを掲出する等、広報活動などを連携、協力して展開し、全市でよこはまフェアを盛り上げる。



横断幕イメージ

## カ その他の連携

横浜開港後、プラントハンターと呼ばれる植物採集家が来日し、日本の植物を海外に紹介したことなどで海外の園芸文化に影響を与えた。横浜開港資料館、横浜都市発展記念館等と連携して、こうした歴史に関する展示会や講演会などを実施する。

## 5 会場運営管理実施計画

## 5-1 会場運営

### (1) 基本的な考え方

#### ア みなとガーデン

- ・公園、道路、港湾緑地の各施設の根拠法令、管理方針等に則り、適切に会場の運営管理を図る。
- ・会場の案内所の開設時間は9:00～17:00とする。
- ・山下公園、日本大通り等のライトアップは21:00までを基本とし、夜間の運営に関しては、赤レンガ倉庫内の会場運営本部で対応する。
- ・よこはまフェア開催期間後半の日照時間の延長に応じて、案内所の開設時間やライトアップの点灯時間も適宜延長を行う。
- ・会場は24時間出入り可能なため、よこはまフェアに関連する施設を中心に24時間の警備を実施する。特に多くの花壇を設置する日本大通り、象の鼻パーク等については高い頻度で警備を行う。
- ・みなとガーデンの各会場の回遊性を高めるために、駅前や街路等にサインの設置を行う。

#### イ 里山ガーデン

- ・新たに整備する会場として、より多くの方に来場していただき、水準の高いサービスを提供するため、隣接するズーラシアと運営、維持管理について十分な連携を図る。
- ・大面積かつ単一の公園予定地を会場としているため、過去の都市緑化フェアと同様の、幅広い内容の来場者サービスを提供する。
- ・期間中、閉園日は設けない。
- ・案内所の開設時間は9:30～16:30とし、ズーラシアの開園時間と合わせ適宜変更する。
- ・夜間、照明がないエリアや有料施設があるエリアについては、一部を閉鎖する。
- ・ズーラシアの北門駐車場をよこはまフェアの駐車場として使用する必要があるため、共通の案内や一体的な誘導を実施する。

#### ウ 会場運営本部

- ・両ガーデンを統括するための運営本部を横浜赤レンガ倉庫1号館2階に設置する。
- ・みなとガーデンの運営に加え、情報発信、コールセンター、ボランティアセンター等、両ガーデンに共通する業務を実施する。
- ・本部の開設時間は8:00～22:00とする。

## (2) みなとガーデンの具体的な実施内容

### ア 会場サービス（会場案内、情報サービス）

- ・横浜公園に常設の案内所を設置し、スタッフにより、みなとガーデンの会場案内や会場案内マップの配布等、情報提供を行う。
- ・会場の総合案内板付近や最寄り駅に会場案内マップ等をいれたラック（無人）を置き、配布する。
- ・土日祝日等の多客日については、桜木町駅、日本大通り駅等にスタッフを配置し情報提供を行う。また、みなとガーデンの各エリアの結節点となる象の鼻パークや、よこはまフェアのメインコンテンツであるバラ園を設置する山下公園等については、臨時の案内所を設置し、スタッフによる案内を実施する。



マップ用ラックイメージ

### イ 会場管理

#### (会場警備)

- ・みなとガーデン全体を複数エリアに分け、制服警備員により 24 時間、主によこはまフェアの展示物等の巡回警備を行い、必要に応じて群衆警備を行う。
- ・横浜公園から、日本大通り、象の鼻パーク、新港中央広場、運河パークに至るエリアについては、夜間は概ね 1 時間に 1 回程度の頻度で警備を実施する。
- ・施設の不具合を発見した場合は、安全措置を講ずるとともに、速やかに管理運営本部に連絡する。

#### (会場清掃)

- ・みなとガーデン全体で、よこはまフェア展示物周辺の清掃、会場内のトイレ清掃（消耗品補充含む）を行う。
- ・清掃したごみを会場内の集積所に集め分別した上で回収する。
- ・特に汚れが目立つ場合は、適宜特別清掃を実施する。

### (3) 里山ガーデンの具体的な実施内容

#### ア 会場サービス

##### (会場案内、情報サービス)

- ・ズーラシアと里山ガーデンで共通の交通・催事等の情報発信を行う。
- ・入口広場に事務所を設置し、里山ガーデンの運営の統括を行う。
- ・入口広場に案内所を設置し、会場案内等の情報提供や会場案内マップの配布を行う。また、土日祝日等の多客日については、東入口にスタッフを配置し情報提供を行う。
- ・コールセンターでは、里山ガーデンに対する問い合わせにも対応するが、想定外の項目に対応するための会場運営本部への情報提供や、必要に応じて直接対応もできるような体制を整える。
- ・来場者の、ズーラシアとの相互利用の利便性を向上し、より多くの集客に結び付けるため、よこはまフェア期間中、毎日ズーラシアを開園し、北門からの入退場ができるようにする。

##### (接客サービス)

入口広場において、以下のサービスを実施する。

- ・高齢者、障がい者対応：車いすの貸し出し
- ・乳幼児対応：授乳室の設置、ベビーカーの貸し出し(有料)
- ・その他：迷子対応、拾得物対応、団体案内等を実施



インフォメーション  
(ex) あいちフェア)

#### イ 会場管理

##### (会場警備)

- ・制服警備員による 24 時間の巡回警備を行う。
- ・案内所を閉じた後については、駐車場の閉場や安全上の観点から来場者に対し退場の案内を行う。
- ・施設の不具合を発見した場合は、安全措置を講ずるとともに、速やかに事務所に報告する。

##### (会場清掃)

- ・正面入口広場にゴミ箱を設置し、ごみの回収を行う。飲食物販等で発生したごみについては、出店事業者が自主回収することを基本とする。
- ・期間中毎日拾い履き巡回清掃、トイレ清掃(消耗品補充含む)、休憩所、ベンチ等の清掃を行う。
- ・ゴミは分別の上、週 1 回の回収を基本とし、集積量が多い場合は適宜回数を増やす。
- ・特に汚れが目立つ場合は、適宜特別清掃を実施する。

##### (救護計画)

- ・入口広場内に救護室を設置し、看護師を配置する。
- ・救護室に A E D を配置し、スタッフは事前に A E D 操作研修を行う。

### (場内放送)

- ・会場内に放送設備を設置し、案内所の開設時間、駐車場や有料施設の利用状況、利用時間、迷子等に関する事項を案内する。
- ・各種注意報、警報が発令された際に、来場者への周知を図るほか、災害発生時は来場者を安全に誘導するための緊急放送を行う。

### (多客日対応)

- ・多くの来場が予想される日には、仮設トイレを増設する。
- ・会場内に混雑が生じないように、会場内を観賞する際のルートを設定し、適切に誘導を図る。

## ウ 有料施設の運営

- ・キャンプ体験、アスレチック施設の一部は有料施設として運営する。
- ・来場者対応、料金徴収、施設点検について有料施設の運営者と調整を図り、円滑に実施する。
- ・夜間警備は里山ガーデン全体の会場管理と共通で実施する。

## (4) 会場運営本部

### ア 会場サービス

- ・本部にコールセンターを設置し、両ガーデンを含めたよこはまフェア全体の電話による問い合わせ対応や交通・展示内容・催事情報・周辺施設等の情報案内を行う。
- ・各ガーデンから開花情報等の情報集約を図り、HP等による各種の情報発信を行う。

### イ その他

- ・来場者の状況を把握し適切な運営に反映するために、来場者集計、アンケート調査を実施する。
- ・スタッフやボランティアの識別のため、両ガーデン共通のユニフォームを製作する。
- ・主によこはまフェアで設置したものに対応した施設賠償保険に加入する他、必要に応じてスタッフ傷害保険、自動車管理者賠償責任保険等に加入する。また、ボランティアについては横浜市が加入している市民活動保険の活用を図る。



## 5-2 ボランティア

### (1) 基本的な考え方

- ・市民協働の一環として、主に会場内花壇の植物維持管理補助を行うボランティアを募集する。
- ・ボランティアが植物の知識や植物管理の技術を身に付け、後の活動につながるよう、現地での作業のアドバイスを行うことに加え、適宜スキルアップ研修等を実施する。

### (2) ボランティアの活動内容

- ・花がら摘み、除草、切り戻し：常時
- ・清掃、灌水、植替え：必要に応じて行う
- ・来場者への植物情報の説明：質問があった際に適宜実施する

### (3) 実施体制

- ・ボランティアセンターを会場運営本部より先行して設置し、ボランティアの募集、登録、研修、ガイドブック作成、その他、全般的なボランティア活動の支援に関する業務を行う。
- ・みなとガーデン、里山ガーデンに活動拠点を設置し、各ガーデンに1班のボランティアグループを配置する。
- ・班の構成はスタッフ1名、ボランティア8名に植物管理の技術指導員を加える体制を基本とする。
- ・ボランティアスタッフは、参加者出欠管理、作業内容の調整、作業の際の班の取りまとめ、物品管理等を行う。
- ・植物管理の技術指導員は、植物施工監理業者が担当し、作業時に技術的な指導を行う。

### (4) スケジュール

- ・募集期間：平成28年10月～11月（約2か月間程度）
- ・募集人数：約230名（1名5日程度の活動の参加を想定）
- ・募集方法：ホームページによる公募を基本とし、適宜、公園愛護会等を通じて呼びかけを行う。  
募集窓口をボランティアセンターに統一し、みなと、里山各ガーデンに分けて募集する。
- ・説明会：第1回（1～2月）…業務概要の説明  
第2回（3月上旬）…各ガーデンでの実技講習

## 5-3 交通輸送

### (1) みなとガーデン

#### ア 基本的な考え方

- ・公共交通機関が発達しているため、公共交通機関の利用を促進する。

#### イ サイン計画

- ・最寄り駅から会場及び会場間の徒歩の誘導を適切に行うため、案内誘導サインを設置する。
- ・海外から多くの来場者が想定されるため、主な誘導サインについては多言語対応を検討する。



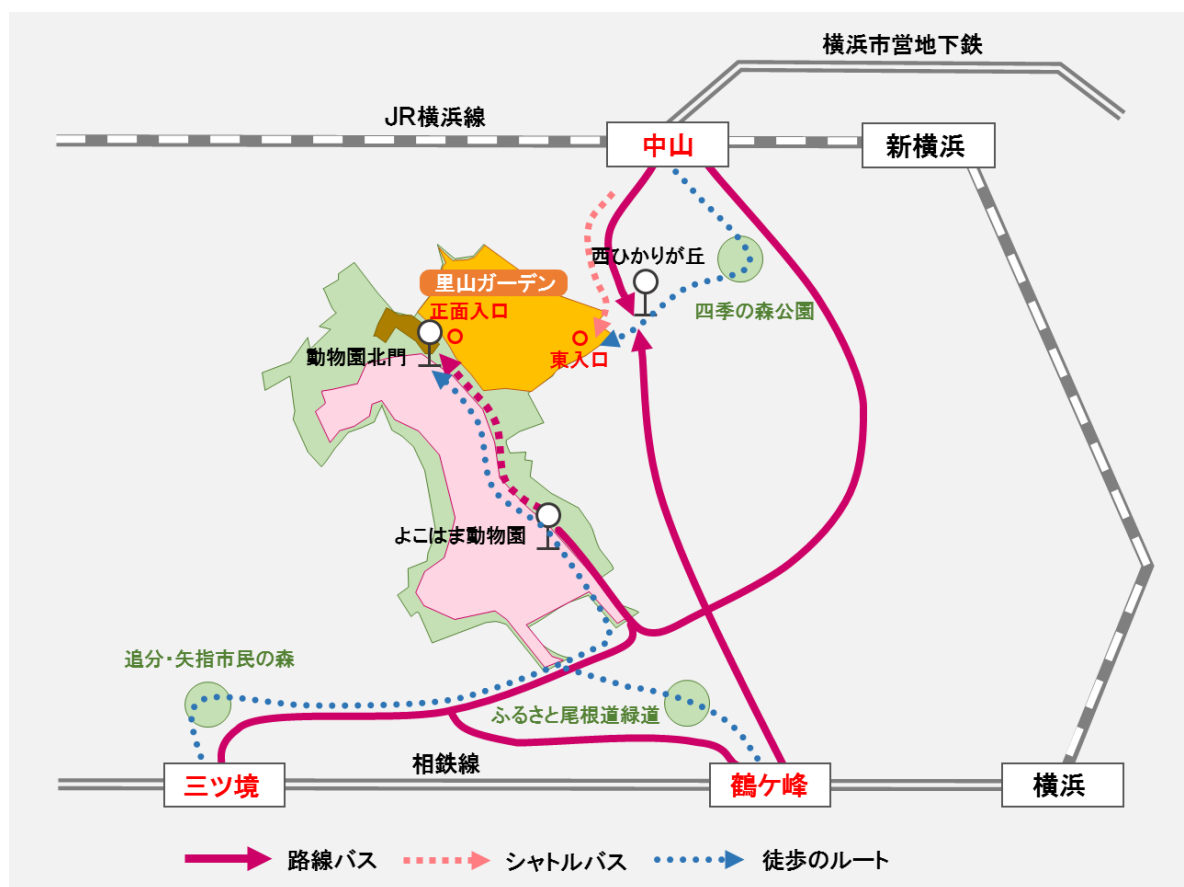
みなとガーデン サイン設置ルート

( 最寄り駅から会場までのルート、 回遊性等を考慮したルート )

## (2) 里山ガーデン

### ア 基本的な考え方

- ・公共交通機関による来場については、最寄り駅である、中山駅（JR、横浜市営地下鉄）、鶴ヶ峰駅、三ツ境駅（相模鉄道）からの路線バスの利用を基本とし、遠方からの来場についてはJR新横浜駅の利用についても案内を行う。
- ・自家用車による来場については、ズーラシア北門駐車場の利用を図る。
- ・徒歩による来場については、最寄り駅から各会場へ徒歩での移動が円滑にできるよう適切に誘導サインを設置する。
- ・来場者数の増加に対応し、公共交通機関、自家用車、団体バス等、それぞれの交通手段に応じて適切な対策を図る。



里山ガーデン来場ルート

### イ 公共交通機関による来場

- ・会場までの公共交通機関の利用促進に向け、ズーラシアと連携した広報を実施する。
- ・ズーラシア正面駐車場からよこはまフェア会場隣接のズーラシア北門駐車場までスムーズに移動できるよう、既存バス路線の増便等を検討する。
- ・会期中の土日祝日は、既存バス路線の増便や、中山駅周辺から会場に直接アクセスできるシャトルバスの運行等を検討する。

## ウ 自家用車による来場

- ・ 現在平日は閉鎖している北門駐車場の平日利用、夜間イベント等開催時の駐車場利用時間の延長、渋滞情報や駐車場情報の共有及び情報発信等に関して、ズーラシアと一体的に対応を進める。
- ・ 来場者の利用目的に応じて、ズーラシア正門駐車場と北門駐車場の誘導を適切に実施する。

## エ 会場内輸送

- ・ 里山ガーデンでは、子どもたちが乗り物を楽しみ、幅広い年代の来場者が円滑に回遊できるよう、会場内の移動バスを運行する（有料）。
- ・ ズーラシアと相互の行き来がしやすくなるような誘導や案内の工夫を図る。



会場内移動バスイメージ

## オ サイン計画

来場者の誘導を適切に行うため、以下のルートについて案内誘導サインを設置する。

- ・ 中山駅、鶴ヶ峰駅、三ツ境駅から会場近くまで運行する路線のバス停まで
- ・ 会場最寄りのバス停から会場まで（相鉄バス西ひかりが丘バス停から東入口）
- ・ 中山駅、鶴ヶ峰駅、三ツ境駅から会場までの徒歩によるルート上



## 6 全市展開計画

## 6 全市展開計画

### (1) 基本的な考え方

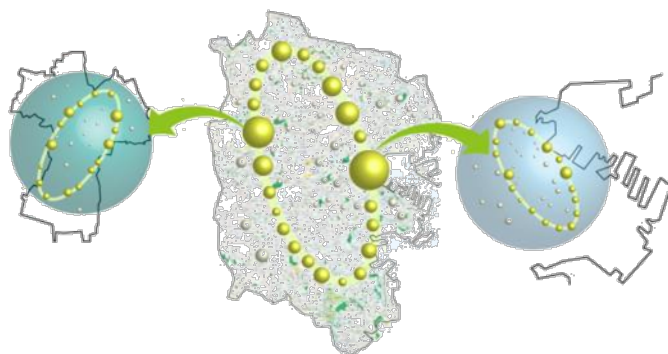
よこはまフェアの展開の方向性である「ガーデンネックレス」を市全体でつなげるため、市民や各区と連携・協力した事業を行い、よこはまフェアの全市的な盛り上げを行う。

また、よこはまフェアの来場者に会場だけでなく市内各地にあるそれぞれの花と緑の見どころを発信する。

市域のガーデンネックレスを実現

横浜の各地の魅力を発信

市民協働・市民活動を発信



### (2) 内容

#### ア 「18区の花と緑 紹介ガイド」の作成

市内の花と緑の見どころを中心に市域の「ガーデンネックレス」をPRするガイド冊子を作成する。

##### 【掲載内容】

- ・各区の花と緑のみどころ
- ・各区観光スポット、グルメ、お土産等



見どころマップ(ex)東京フェア)

#### イ 横浜市民花壇・パネル展示 (一部再掲)

横浜市の全市的な魅力を発信するため、市民の力で作る「横浜市民花壇」を山下公園に設置。各区の公園愛護会と連携、協力し、各公園でも再現可能な技術を取り入れたプロによる講習会を行って花壇を作成。また、あわせて公園愛護会の紹介や各区の花と緑の名所のパネル展示を行う。



花と緑のみどころパネル  
(ex) あいちフェア)



市民花壇  
(ex) しずおかフェア)



花壇作業  
(ex) しずおかフェア)

### ウ パートナー会場の設定（再掲）

よこはまフェアを盛り上げていくため、市内各地の花と緑の見どころがある場所等を一定の要件のもとに「パートナー会場」として設定、緑化の普及啓発を図り、緑化の魅力を高める。

#### 【内 容】

- ・のぼりの配布、看板（パネル）等の作成
- ・パートナー会場の紹介（チラシ、HP等）及び広報の連携



連携会場  
(ex)東京フェア)

### エ 商店街連携（再掲）

市全体でよこはまフェアを盛り上げるため、商店街と連携し、プランター等を設置する。地域での緑化意識の高揚を図る。

### オ 区役所との連携（一部再掲）

広報、PR活動を区役所と連携、協力しながら展開する。

#### 【18区連携事業（本市事業）】

よこはまフェアの開催の周知や盛り上げにつながる取組を各区が地域の特性を踏まえて独自に展開する。

#### 【内 容】

- ・区内主要駅や公園、公共施設などへのよこはまフェア告知用横断幕の掲出や花壇、ハンギングバスケット等の設置
- ・緑道や歩行者道路に面した企業等の協力による緑化
- ・オープンガーデン、インフィオラータ等、区民参加の花と緑のイベントの開催
- ・よこはまフェア会場へのウォーキングイベントの開催
- ・ハマロードサポーターや公園愛護会によるよこはまフェア告知を兼ねた花壇の植栽
- ・区民まつり等、区主催既存イベントでのPR活動



区主催イベント



オープンガーデン



桜まつり





- 資料**
- 準備及び開催体制について
  - 各会場計画図

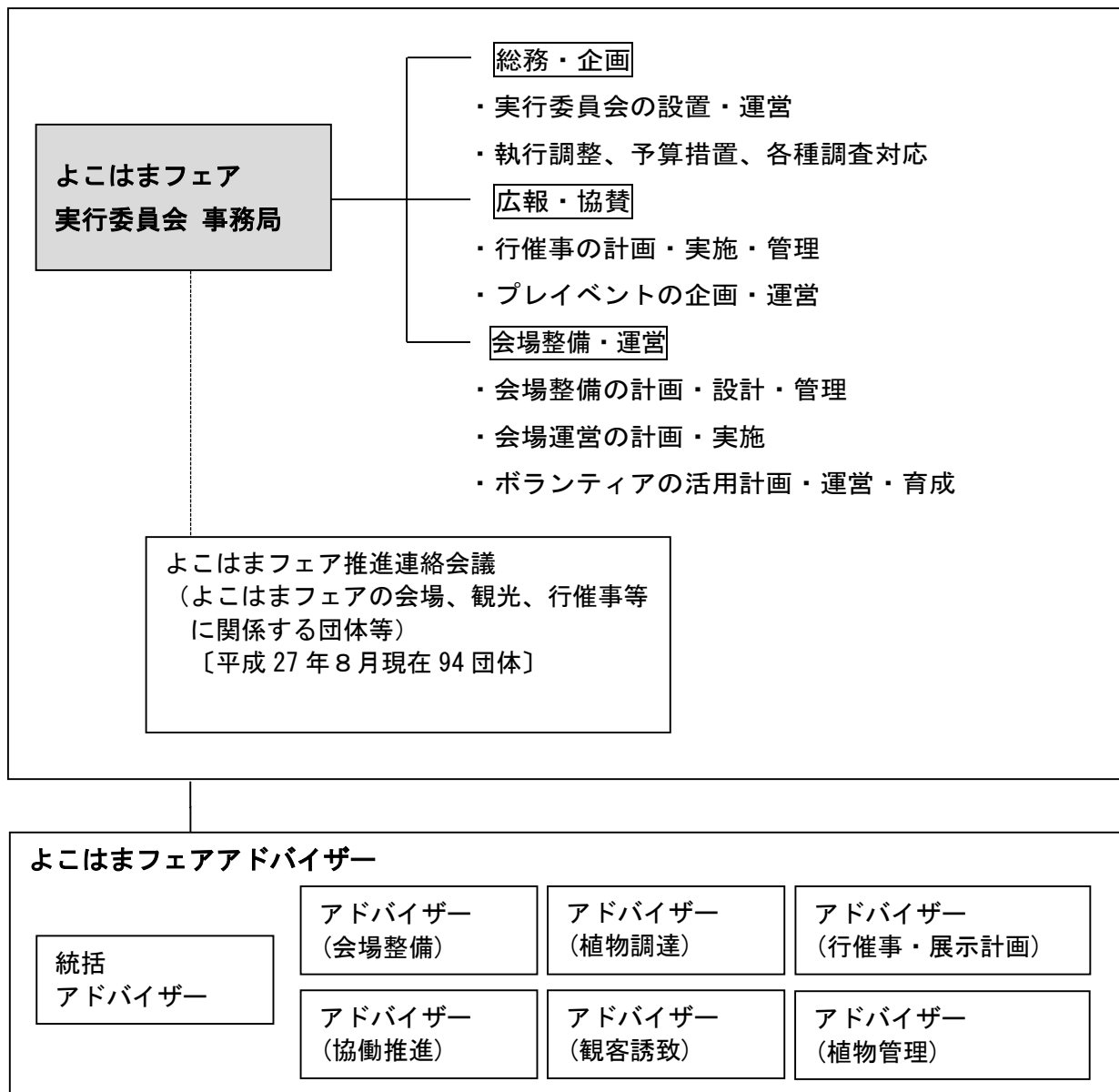
## (資料) 準備および開催体制

### (1) 基本的な考え方

- ・よこはまフェアを効果的に実施・運営していくために、実行委員会を設置するとともに必要に応じた体制を設える。

### (2) 事業実施体制

- ・アドバイザーの導入等を含め、他都市の開催体制等を参考に横浜市組織体制に事業実施体制を設定する。



※全国都市緑化祭は別に実行委員会を設置する。

(1) 日本大通リエリア 横浜公園～日本大通り～象の鼻パーク

①

『チューリップガーデン』  
・市民の想いで咲かせた16万本のチューリップ



④

『自治体出展花壇&マリナー花壇』  
・街を彩る港からの贈り物/各地の街並み風景花壇



日本大通りイメージ



自治体出展花壇イメージ

マリナー花壇 (イメージ)



⑤

『トピアリー&ワイルドフラワー花壇』  
・「象のトピアリー」など各種トピアリーと四季折々のワイルドフラワー



象のトピアリー



⑥ 『企業出展』  
・「もてなしの庭」をテーマに全国から企業が庭園を出展



象の鼻パーク

② 『企業連携ガーデン』  
(横浜DeNAベイスターズとの連携ガーデン)

I★YOKOHAMA



©YDB

③

『和の庭』(日本庭園)



- ・林床に四季折々の花が咲く。
- ・テッポウユリ、ボタン、ツツジほか、横浜の港から海外輸出された植物を林床に植栽。
- ・水景とハナショウブ等。

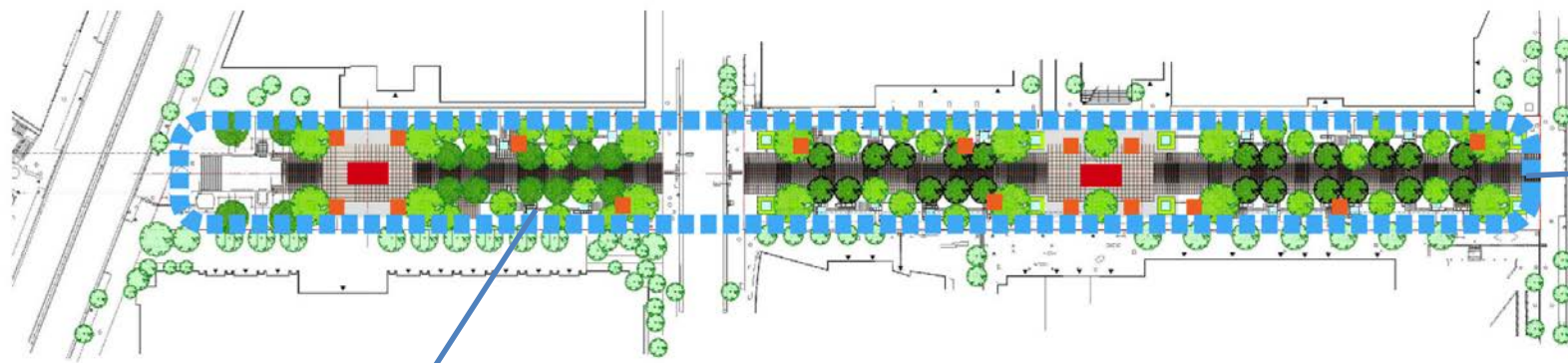
⑦ 『ガーデンベアの庭』



©ITOON/GN2017

- ・よこはまフェアのシンボリックなガーデンとなる主催者花壇

(2) みなとみらいエリアー1 グランモール公園



会場装飾イメージ



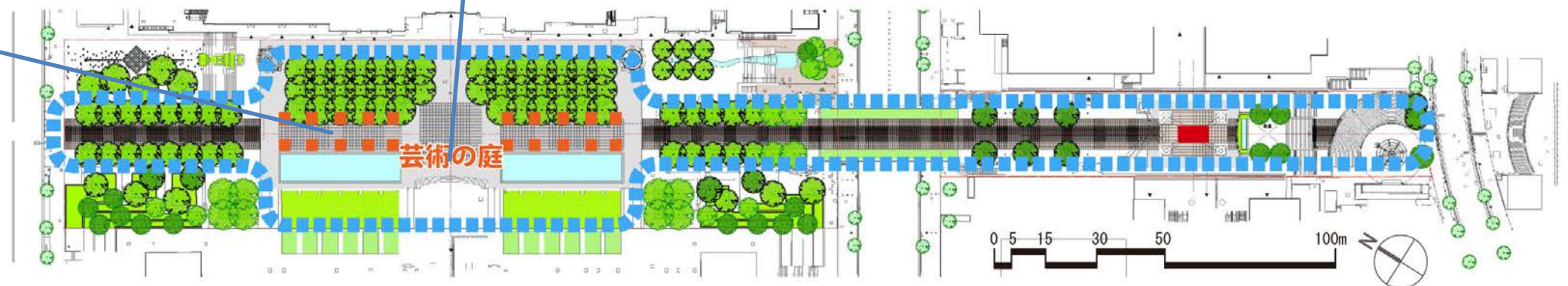
『グリーンキューブ』  
<緑化壁に囲まれたブースで横浜市内産の花・緑・農をPR>



再整備イメージ (美術の広場)



★夜間演出  
美術の広場で、夜間楽しめる空間を演出



### (3) みなとみらいエリアー2 新港中央広場(8街区)・運河パーク

<新港中央広場>



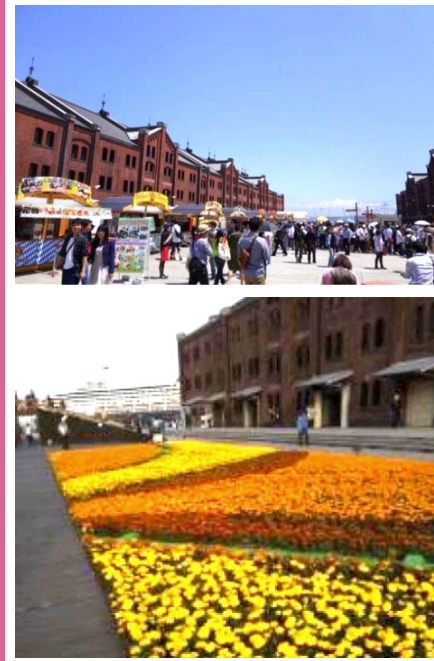
『企業・団体出展』  
<全国から企業・団体による庭園出展を展開>



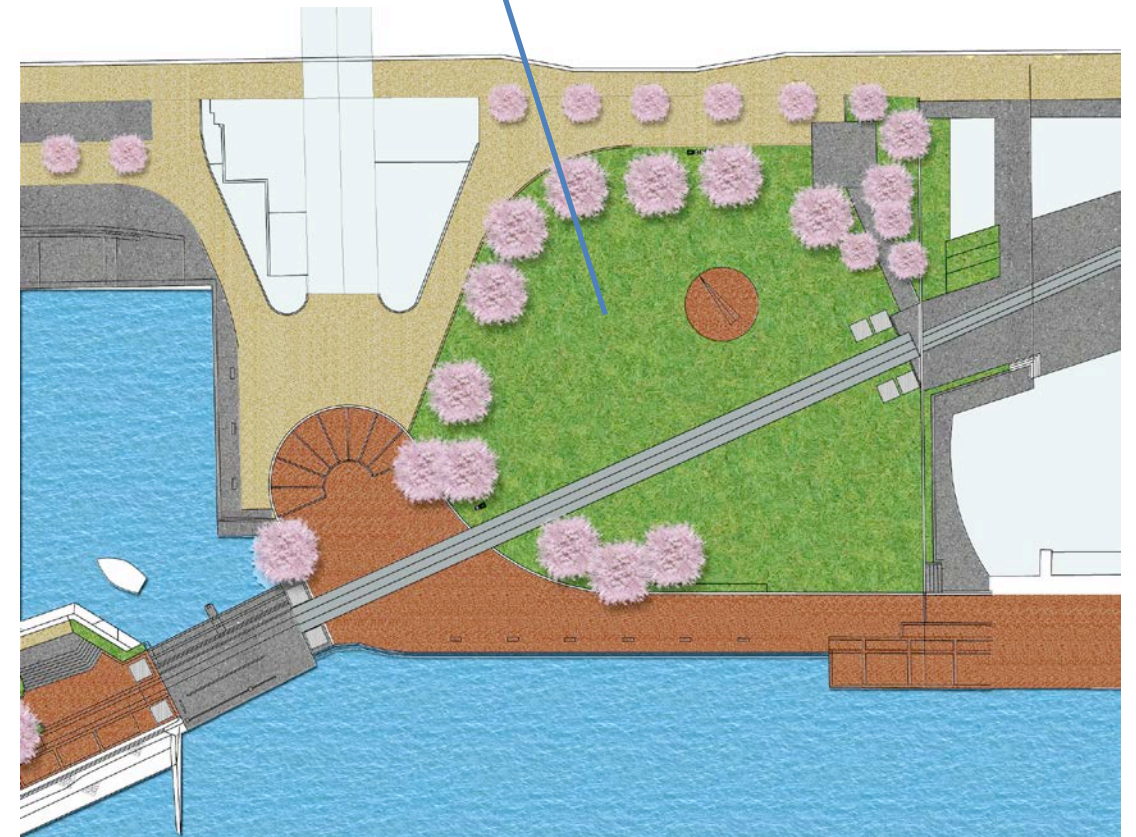
『ナチュラルガーデン』  
<花、風、木陰、横浜らしい風景でおもてなし>



『既存イベントと連携』



<運河パーク>



(4) 山下・山手エリアー1 山下公園

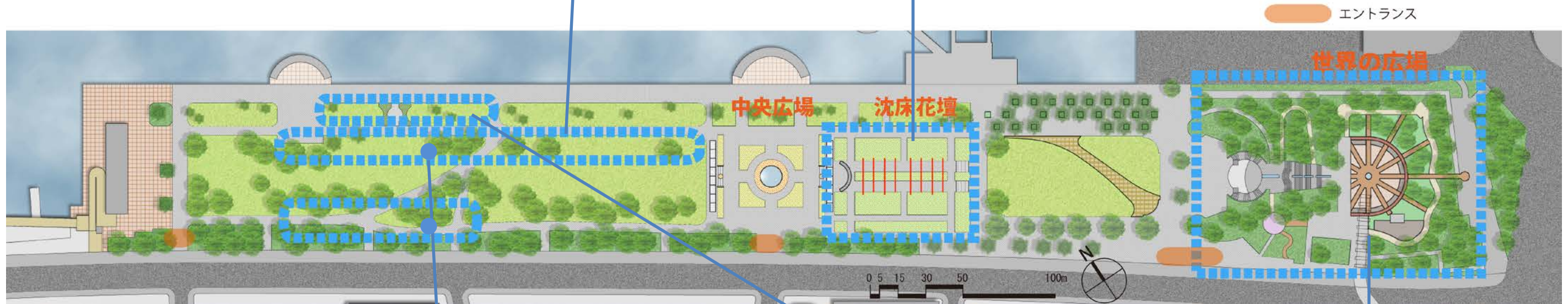
サクラコンテナ (3月下旬~4月下旬)  
 <横浜港からワシントン等に渡った桜の品種展示>



沈床花壇『未来のバラ園』  
 ・バラと草花の華麗な色彩のコンチェルトが楽しめる



・ロマンチックなライティングの展開



市民連携花壇  
 <公園愛護会等と連携してつくる「ミックス花壇」>



フォトスポット  
 <横浜の景色や街並みと花のスポット展開>



『世界の広場』(花溢れるパティオ)



(5) 山下・山手エリアー2 港の見える丘公園

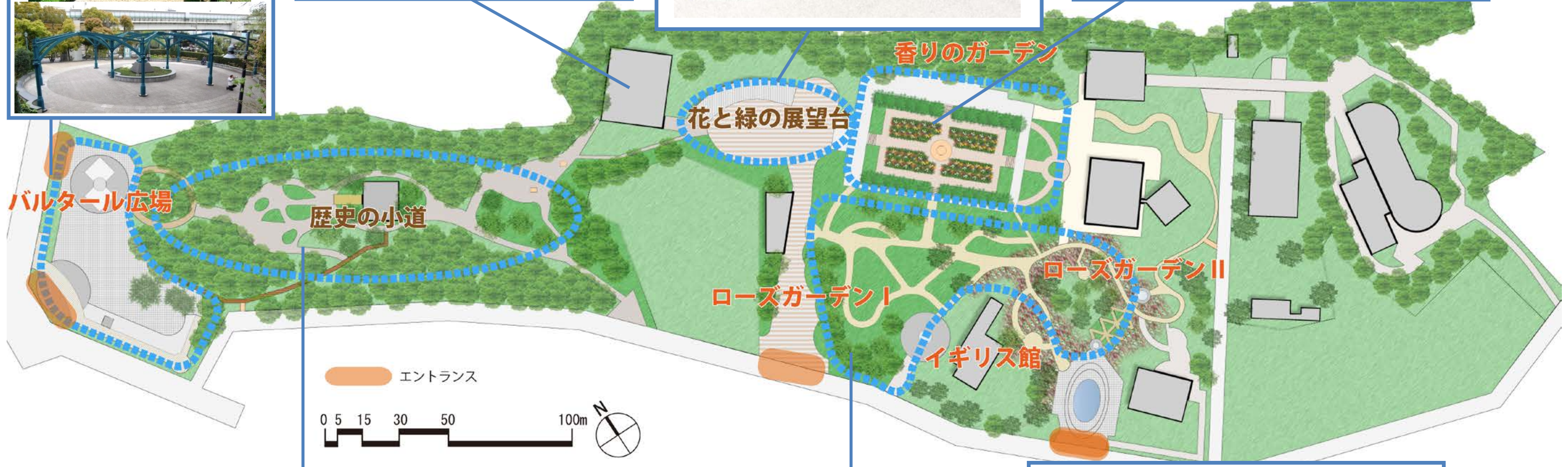
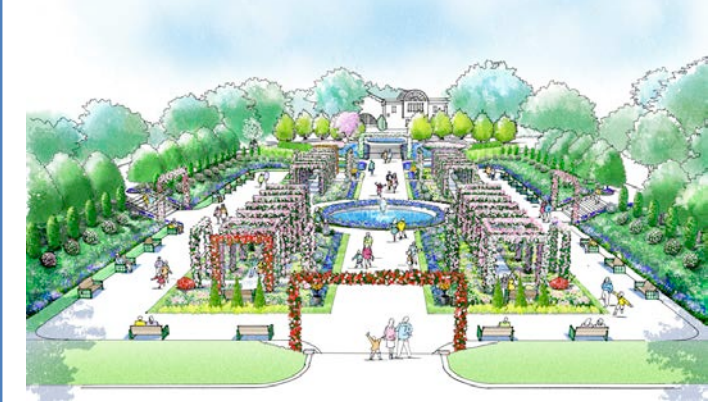
『趣味の園芸 50th ガーデン』  
「家族が遊べる庭」をコンセプトに1年をかけて徐々に作り上げるガーデン



『ハンギングバスケットの丘』  
100基のハンギングバスケットで展望台を装飾  
ハンギングバスケットのコンテスト開催



『香りの庭』(沈床花壇)  
150種の香りのバラと100種の香りの植物を集めたガーデン





## (6) 里山ガーデン



### 正面入口広場

賑わいを彩る花壇や出展ブースなど来場者の期待を高める演出を実施。



### 横浜の花で彩る大花壇

市内最大級1ヘクタールの大花壇。横浜市内産のビオラをはじめ、チューリップ、ワイルドフラワー等で演出。様々な角度からのダイナミックな景観を提供。



### 生物多様性ゾーン

横浜の原風景の一つである「谷戸」の景観を保全するゾーン。



### 花の里山

サクラやヤマブキ、レンギョウなど春の花木が織りなす花の名所。



### 谷戸のカキツバタ園

谷戸田の形状を再現したカキツバタ・ハナシユウ園。水辺には観賞デッキを設置。



### フォレストアスレチック

樹木間にワイヤーを張り、木々の間を移動するアスレチック、幅広い年齢層に楽しめる難易度別コースを設置。



### 花の小道

森の中を散策しながら花と緑を楽しむ小道。



